

令和4年度

香美町総合戦略 事業評価・検証シート

兵庫県香美町

重要業績評価指標(KPI)進捗管理一覽

令和4年度 第2期香美町総合戦略 成果指標、重要業績評価指標（KPI）

■基本目標Ⅰ 香美町における安定した就労の場を創出する

数値目標	新規就労者数 6年間（2020年度-2025年度の累計）で70人
------	----------------------------------

◆重要業績評価指標（KPI）に対する達成状況及び評価について

■KPIが計画期間中（6年間）の累計である数値目標の場合
令和2年度から当該年度末までの累計に対する達成状況を算定し評価を行う。

■KPIが単年度の成果である数値目標の場合
当該年度末での実績に対する達成状況を算定し評価を行う。

- ◎：当該年度末において達成済
- ：令和7年度末での達成が見込める
- △：令和7年度末での達成が困難
- ：事業未実施または事業の実施状況により実績の把握が不可など

数値目標	基準値		重要業績評価指標（KPI）	所管	当該年度末実績	令和2年度から当該年度末までの累計	重要業績評価指標に対する達成状況及び自己評価		今後の取り組み方針	
							達成状況（%）	評価		
実質化したプラン※ （※①アンケートの実施②地図を作成し耕作状況の見える化③集落みんなの話し合い）	0組織	[H30年度]	15組織	[R7年度]	農林水産課	5組織	-	33.3%	△	地域での話し合いにより目指すべき将来の農地利用の姿を明確化する「人・農地プラン（地域計画）」が法定化されたため、各地区及び農業関係者等と地域計画の策定に向けた協議を進めていく。
農地中間管理事業取扱面積	11.3ha	[H30年度]	70.0 ha	[R7年度]	農林水産課	59.10ha	-	84.4%	○	今後も引き続き、地域計画の策定と合わせて事業の推進に取り組む。
集落営農組織数	13組織	[H30年度]	15組織	[R7年度]	農林水産課	11組織	-	73.3%	△	集落内農家の高齢化に伴い、集落営農組織そのものの持続も危ぶまれていることから、集落営農の組織化・法人化も視野に入れた支援策を拡大していく。
認定農業者数	42人	[H30年度]	45人	[R7年度]	農林水産課	42人	-	93.3%	○	畜産、果樹、水稲において認定新規就農者から認定農業者へ移行できるよう支援を継続する。
「ものづくり」6次産業化取組件数 ※1	1件	[H30年度]	12件	[6年間の累計]	観光商工課	2件	6件	50.0%	△	商工会と連携を図り、新商品の開発等に支援していく。
起業・創業支援件数 ※2	2件	[H30年度]	12件	[6年間の累計]	観光商工課	2件	8件	66.7%	○	セミナー等を通じて、引き続き支援を行う。
観光入込客数 ※3	132.5万人	[H30年度]	165万人	[R7年度]	観光商工課	97.1万人	-	58.8%	△	各施策の充実を図る。
うち宿泊者数	36.8万人	[H30年度]	42.6万人	[R7年度]	観光商工課	27.8万人	-	65.3%	△	各施策の充実を図る。

※1 ものづくり支援事業補助金利用件数

※2 起業・創業支援事業補助金利用件数

※3 観光動態調査より算出

令和4年度 第2期香美町総合戦略 成果指標、重要業績評価指標（KPI）

■基本目標Ⅱ 香美町への新しい人の流れをつくる

数値目標	若い世帯の新たな移住 6年間（2020年度-2025年度の累計）で90世帯
------	---------------------------------------

◆重要業績評価指標（KPI）に対する達成状況及び評価について

■KPIが計画期間中（6年間）の累計である数値目標の場合

令和2年度から当該年度末までの累計に対する達成状況を算定し評価を行う。

■KPIが単年度の成果である数値目標の場合

当該年度末での実績に対する達成状況を算定し評価を行う。

◎：当該年度末において達成済

○：令和7年度末での達成が見込める

△：令和7年度末での達成が困難

—：事業未実施または事業の実施状況により実績の把握が不可など

数値目標	基準値	重要業績評価指標（KPI）	所管	当該年度末実績	令和2年度 から当該年度末 までの累計	重要業績評価指標に対する達成状況及び自己評価		今後の取り組み方針
						達成状況（%）	評価	
人口増減数に対する社会増減数が占める割合※1	47.90% [3カ年平均] (H28-H30) (基準日：1月1日)	40% [R7年度]	企画課	33.88%	-	129.1%	○	転出傾向が高い若い世代を中心に、町内に住み続けたいと思える環境づくりや、U・Iターン希望者や移住希望者が定住できる体制を強化していく。
空き家利活用件数 ※2	10件 [H30年度]	84件 [6年間の累計]	企画課	17件	56件	66.7%	○	空き家の情報管理及び情報発信を強化し、利用希望者のニーズに合った空き家の紹介をしていくことで、さらなる利活用につなぐ。
U・Iターン就職者数 ※3	8人 [3カ年平均] (H28年度-H30年度)	60人 [6年間の累計]	観光商工課	0人	0人	0.0%	△	今後、U・Iターン推進につながる具体的な施策に取り組む。
地域おこし協力隊の定住、起業件数	3人 (H28年度-H30年度)	6人 [6年間の累計]	企画課	1人	4人	66.7%	△	現在活動中の隊員の定住・起業に向けたフォローアップをするとともに、協力隊の配置についても任期終了後の定住・起業につながるものとする。

※1 「住民基本台帳人口・世帯数（公財）国土地理協会」掲載数値により算出

※2 空き家バンク登録物件の契約成立件数及び県補助金等の利用件数

※3 雇用奨励金等商工関連補助金交付企業等での就職者数

令和4年度 第2期香美町総合戦略 成果指標、重要業績評価指標（KPI）

■基本目標Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標	年少人口（0歳～14歳） 2025（R7）年度に1,650人を維持
------	-----------------------------------

◆重要業績評価指標（KPI）に対する達成状況及び評価について

- KPI が計画期間中（6年間）の累計である数値目標の場合
令和2年度から当該年度末までの累計に対する達成状況を算定し評価を行う。
- KPI が単年度の成果である数値目標の場合
当該年度末での実績に対する達成状況を算定し評価を行う。

- ◎：当該年度末において達成済
- ：令和7年度末での達成が見込める
- △：令和7年度末での達成が困難
- ：事業未実施または事業の実施状況により実績の把握が不可など

数値目標	基準値	重要業績評価指標（KPI）	所管	当該年度末実績	令和2年度から当該年度末までの累計	重要業績評価指標に対する達成状況及び自己評価		今後の取り組み方針
						達成状況（%）	評価	
出生数	89人 [H30年度]	110人 [R7年度]	健康課	60人	-	54.5%	△	妊娠期から出産・子育て期にわたる伴走型支援を行うことで、安心して妊娠期・子育て期が送れるように支援していく。
婚姻数	31組 [H30年度]	45組 [R7年度]	企画課	30組	-	66.7%	△	出会い・結婚に繋がる機会の提供のみならず、「地元での暮らし」を前向きに考える意識づくり、環境づくりに取り組み、結婚後の町内定住に繋げる。
ワーク・ライフ・バランス推進企業認定数	-	10事業所 [6年間の累計]	観光商工課	0事業所	0事業所	0.0%	△	ワークライフバランスに関するセミナーを実施し、普及啓発を行う。
子どものいる世帯のうち、第3子以上を養育する世帯の割合	20.3% [H30年度]	23.0% [R7年度]	健康課 こども教育課	19.1%	-	83.0%	△	子育て世帯の支援に取り組み、安心して第3子以降を生み育てやすい子育て環境の充実を図る。
香美町で子育てをしたいと思う親の割合※	92.4% [H30年度] (県平均94.0%)	95.0% [R7年度]	健康課	87.30%	-	91.9%	△	子育てしたい町の姿を保護者や家族と共有し、子育て支援事業を展開していく。

※1 乳幼児健康診査問診票の問診項目（健やか親子21健康水準の指標）により算出

令和4年度 第2期香美町総合戦略 成果指標、重要業績評価指標（KPI）

■基本目標Ⅳ 豊かな暮らしを守り、周辺地域と連携する

数値目標	地域コミュニティ組織の確立
------	---------------

◆重要業績評価指標（KPI）に対する達成状況及び評価について

■KPIが計画期間中（6年間）の累計である数値目標の場合

令和2年度から当該年度末までの累計に対する達成状況を算定し評価を行う。

■KPIが単年度の成果である数値目標の場合

当該年度末での実績に対する達成状況を算定し評価を行う。

◎：当該年度末において達成済

○：令和7年度末での達成が見込める

△：令和7年度末での達成が困難

—：事業未実施または事業の実施状況により実績の把握が不可など

数値目標	基準値	重要業績評価指標（KPI）	所管	当該年度末実績	令和2年度 から当該年度末 までの累計	重要業績評価指標に対する達成状況及び自己評価		今後の取り組み方針
						達成状況（%）	評価	
新しい地域コミュニティ組織数	-	6 箇所 [6年間の累計]	企画課	0箇所	1組織	16.7%	△	新しい地域コミュニティ組織による持続可能な地域づくりを目指すため、地域住民による主体的な地域づくりを支援する地域伴走支援者の確保を行うとともに、行政と伴走支援者との連携した支援体制の構築を目指す。
集落点検・集落計画策定件数	-	上記、地区内の集落	企画課	0件	0件	0.0%	△	持続可能な地域づくり、組織運営を図るため、人口動向・高齢化・地域活動の課題等を点検し、課題解決に向けた集落計画の策定を推進していく。

基本目標 I

香美町における安定した就労の場を創出する

令和4年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅰ 香美町における安定した就労の場を創出する

数値目標	新規就労者数 6年間（2020年度-2025年度の累計）で70人
------	----------------------------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
新規就労者数	8人	5人	2人				15人

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
予算区分 / 所管			

■施策の柱1 地域産業の競争力強化（商工分野）

具体的な施策① 地域産業の育成・支援【継続】

<ul style="list-style-type: none"> 個々事業者の経営革新計画の作成支援 	-	新規事業の展開に向けた中期的な計画を作成することで、現状課題や今後の経営方針を明確にし、事業継続力の強化を図るため、事業計画書の作成に取り組む町内事業者に対し、支援を実施した。	商工会と連携し、意欲のある事業者が計画を作成することで経営力の強化に繋がるようセミナー等の開催を検討する。
-	観光商工課	<ul style="list-style-type: none"> 事業計画策定支援 10件 	
<ul style="list-style-type: none"> 創業支援事業計画による起業・創業ワンストップ窓口の設置と総合的支援 	地域しごと支援事業	商工会に設置したワンストップ窓口での相談とあわせ、創業支援計画に基づくセミナーを開催した。	補助制度や優遇制度を周知し、意欲のある方を発掘する。
-	観光商工課	創業支援計画事業委託料 1,500千円	
<ul style="list-style-type: none"> 多様な就業の場の確保と人材育成の推進 	地域しごと支援事業	町内事業所従業員の人材育成に関わる各種資格取得に対する支援を行った。	利用事業者数及び受講者数の増加を目指し、補助制度の普及啓発に努める。
-	観光商工課	<ul style="list-style-type: none"> 利用事業者 16者 受講者 延べ139人 地域産業活性化人材育成支援事業補助金 1,405千円	
<ul style="list-style-type: none"> 事業主の円滑な事業継承を進めるための事業承継セミナー、個別相談の実施 	地域しごと支援事業	創業支援セミナー及び個別相談を行った結果、2名が起業した。	補助制度や優遇制度を周知し、意欲のある方を発掘する。
-	観光商工課	<ul style="list-style-type: none"> 創業支援セミナー 4回 3名 個別相談 7日間 3名 事業承継推進事業委託料 1,500千円	

■施策の柱2 地域産業の競争力強化（農林水産分野）

具体的な施策① 農林水産業の生産基盤の保全と地場産品の高付加価値化【拡充】

[農村空間の継承と高付加価値農産物の生産振興]

<ul style="list-style-type: none"> 農地中間管理事業による中心的経営体や担い手への農地の集積集約 	町単農業振興対策事業費 農地中間管理事業等推進事業費	農業者の減少、遊休農地の増加等を解決するため、地域全体で農地利用最適化の調整を進め、農地中間管理事業を通して農地を集積集約することにより、地域の中心的な担い手農業者を支援・育成した。	農業者の減少、遊休農地の増加等を解消するため、引き続き取り組む。
-	農林水産課	農地集積集約促進事業補助金 366千円 農地中間管理事業等推進事業費 800千円	
-	農林水産課		

令和4年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅰ 香美町における安定した就労の場を創出する

数値目標	新規就労者数 6年間(2020年度-2025年度の累計)で70人
------	----------------------------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
新規就労者数	8人	5人	2人				15人

取組内容		事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
予算区分 / 所管				
	・非農家も含めた集落営農の推進、農業経営組織の法人化	町単農業振興対策事業費	香美町内の集落営農組織・農業法人の代表者等を対象に、集落農業研究会を開催した。	持続的・安定的な農地保全に向け、引き続き法人化への支援に取り組む。
	6 - 1 - 3 農林水産課			
	・「人・農地プラン」の策定推進と大切な農地や農村文化を守る気風の醸成	人・農地問題解決推進事業費	地域計画策定に向け、各関係機関と事務分担等に関する連絡調整や先進的な地域との意見交換会を行った。	引き続き、地域計画の策定に伴い、全筆調査の実施や各地域の現状地図・目標地図の作成に向けた協議を行う。
	6 - 1 - 3 農林水産課			
	・食味値等で評価の高い特A産地Sランクの「コンヒカリ」、高単価で取引される「美方大納言小豆」、二十世紀やなしおとめをはじめとした「香住梨」など、地域特産物の生産拡大	地域特産物販路拡大事業費	町・県農業改良普及センター・JA等の関係団体が連携し、良食味米など地域特産物の生産拡大、PRを行い、農家所得の向上を図った。	引き続き、関係機関が連携し、特産物の生産拡大、PRに取組み、農家所得の向上を図る。
	6 - 1 - 3 農林水産課		地域特産物販路拡大事業費 4,071 千円	
	・但馬牛の堆肥やカニ殻等の有機肥料、減農薬栽培による「有機の里」づくり	町単農業振興対策事業費	牛ふん堆肥等の有機肥料による健康な土づくりを進め、農産物の高付加価値、環境にやさしい農業の推進を図った。	引き続き、牛ふん堆肥等の有機肥料による健康な土づくりを進め、農産物の高付加価値、環境にやさしい農業を推進する。
	6 - 1 - 3 農林水産課		有機の里推進対策事業費補助金 1,960 千円	
[「美方郡産但馬牛」の増頭と更なるブランド化の推進]				
	・優良肉用雌牛保留対策事業による優良系統牛の確保、維持	畜産振興対策事業	“但馬牛の原産地”として増頭対策を積極的に推進し、農家の規模拡大を支援するとともに、優良牛の育種改良基盤の確立に努めた。	引き続き、“但馬牛の原産地”として増頭対策を積極的に推進し、農家の規模拡大を支援するとともに、優良牛の育種改良基盤を確立する。
	6 - 1 - 4 農林水産課		優良肉用雌牛保留対策事業費補助金 7,930 千円	
	・若手農家の経営規模拡大支援、新規就農者の確保、異業種企業の参入、新たな生産拠づくりによる増頭対策の推進	畜産振興対策事業	中心的経営体となる若手畜産農家の規模拡大と新規就農者等の施設整備、繁殖雌牛導入に対し支援を行った。	引き続き、中心的経営体となる若手畜産農家の規模拡大と新規就農者等の施設整備、繁殖雌牛導入に対し支援を行う。
	6 - 1 - 4 農林水産課		経営発展支援事業補助金(新規就農者育成総合対策) 7,500 千円	
	・広域的なふん尿処理対策及び耕畜連携、棚田放牧等の拡大	畜産振興対策事業	放牧と堆肥の利用については、耕畜連携が図られているが、広域的ふん尿処理について具体的な検討に至らなかった。	引き続き、耕作放棄地を活用した放牧や堆肥を利用した有機栽培を推進する。また、広域的ふん尿処理対策について但馬内の市町、JA、県等の関係機関と検討を進める。
	6 - 1 - 4 農林水産課			

令和4年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅰ 香美町における安定した就労の場を創出する

数値目標	新規就労者数 6年間（2020年度-2025年度の累計）で70人
------	----------------------------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
新規就労者数	8人	5人	2人				15人

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
予算区分 / 所管			
[新たな森林経営管理と価値ある森林の育成]			
<ul style="list-style-type: none"> 森林環境税を活用した間伐等人工林の適正管理と「100年の森」づくり 	森林環境経営管理事業費	<ul style="list-style-type: none"> 条件不利地における間伐等の森林整備に支援を行った。 町内 計 42箇所 42.58 ha 町内2集落において町単独里山防災林整備事業を実施し、集落の防災機能の強化を図った。 	森林整備を継続実施する。
6 - 2 - 2 農林水産課			
<ul style="list-style-type: none"> 木の駅プロジェクト等による森林資源を活用する気風の醸成 	森林環境経営管理事業費	<ul style="list-style-type: none"> 木の駅プロジェクト実施主体である森のステーション美方実行委員会に運営支援を行った。 出荷量 272.4 t グリーンチケット発券枚数 3,879 枚 沿道森林美化整備事業は地権者検索等に不測の時間を要したため、令和4年度の事業実施を見送った。 	<ul style="list-style-type: none"> 木の駅プロジェクトについては周知活動を継続実施するとともに新規登録者の掘り起こし、出荷量の安定確保に努める。 沿道森林美化整備事業については、円滑な事業実施に努める。
6 - 2 - 2 農林水産課			
<ul style="list-style-type: none"> 間伐材など未利用森林資源の有効活用 	森林環境経営管理事業費	事業未実施	新たな森林活用の方向性を整理し、地域産材を用いた公共施設建築、木材加工事業の取組み等について検討する。
6 - 2 - 2 農林水産課			
<ul style="list-style-type: none"> 木質バイオマスの利用拡大と公共施設等の木質化の推進 	森林環境経営管理事業費	チップ材加工については、香美町バイオマスセンターを拠点として安定的な運営ができていないが、公共施設における地域産材による木質化については実施できていない。	チップ材加工については継続して安定運営に努め、木質化については情報収集に努める。
6 - 2 - 2 農林水産課			
[日本海側随一の「水産のまち香住」の再興]			
<ul style="list-style-type: none"> 漁業関係施設や市場機能の再編・集約・整備の推進 	水産業振興事業費	水産物流通機能高度化個別施策の検討のため、香美町の水産を考える会の作業部会を3回、香住・柴山地区沖底漁業者、べにかご漁業者及び兵庫県水産漁港課との協議を各1回行った。 調査業務委託料 4,873 千円	水産庁、全国漁業協同組合連合会の補助事業「経営基盤強化支援事業」を活用した「但馬漁業協同組合の集約販売体制再編に関する分析・調査業務」にて引き続き検討する。
6 - 3 - 2 農林水産課			
<ul style="list-style-type: none"> 資源管理に基づく漁獲量の確保と漁船、船員の確保 	水産業振興事業費	新規漁業就業者、外国人漁業実習生を激励することにより、漁業後継者の育成、担い手の確保につなげ、漁船、漁獲量の確保を図った。 消耗品費（新規漁業就業者激励記念品他） 174 千円	船主、漁協からも評価が高い激励会を引き続き行う。
6 - 3 - 2 農林水産課			

令和4年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅰ 香美町における安定した就労の場を創出する

数値目標	新規就労者数 6年間（2020年度-2025年度の累計）で70人
------	----------------------------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
新規就労者数	8人	5人	2人				15人

取組内容		事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
予算区分 / 所管				
<ul style="list-style-type: none"> 魚職普及の推進と「魚のまち」の誇りの回復 	6 - 3 - 2 農林水産課	水産業振興事業費	地元産の魚等を使用した料理教室の開催、学校給食や町内グループ等が行う調理実習等への魚食材料提供により、魚食普及や「魚のまち」再興を推進した。 賄材料費（魚色普及食材料費） 1,472千円	とと条例の町として、「魚のまち」再興に向け、引き続き魚食普及を推進する。
	6 - 3 - 2 農林水産課	水産業振興事業費	高い技術力を誇る水産加工品の町内外のイベント等でPRするための販売促進グッズ作成、試食用材料費等への補助を行った。 水産物PR事業補助金 2,470千円	水産加工品のブランド化、全国への販売展開を引き続き行う。
	6 - 3 - 2 農林水産課	水産業振興事業費	矢田川にアユ等の稚魚を放流することにより、漁獲量の確保と清流を守る意識の高揚、京阪神等町外からの釣り客の増加による観光面の振興など、町全体の活性化を図った。 矢田川等稚魚放流事業費補助金（1,100kg） 2,350千円	産卵場の形成や放流稚魚の研究等を引き続き行う。
具体的な施策② 多様な担い手の育成と後継者の確保【継続】				
<ul style="list-style-type: none"> 地域をあげた「人・農地プラン」策定の推進 	6 - 1 - 3 農林水産課	人・農地問題解決推進事業費	地域計画策定に向け、各関係機関と事務分担等に関する連絡調整や先進的な地域との意見交換会を行った。	引き続き、地域計画の策定に伴い、全筆調査の実施や各地域の現状地図・目標地図の作成に向けた協議を行う。
	6 - 1 - 3 農林水産課	町単農業振興対策事業費	持続的・安定的な地域営農の確保にむけ、広域的な営農エリアを包括する農業生産法人等の組織化と大型農業機械機具導入に対する支援を行った。 農業近代化施設整備事業補助金 20,413千円	持続的・安定的な農地保全に向け、引き続き大型農業機械機具導入と法人化への支援に取り組む。
<ul style="list-style-type: none"> 「就農希望者セミナー」「U・Iターン相談会」等の開催による新規就農者の確保、異業種からの新規参入促進、2種兼業農家、定年帰農者等による人材の確保 	6 - 1 - 3 農林水産課	新規就農・経営継承総合支援事	経営発展支援事業補助金（新規就農者育成総合対策） 5,205千円	新規就農者の確保のため、引き続き、相談会やセミナーに参加するとともに、定年帰農者等による人材確保のため、新たな支援策を検討する。
			就農希望者セミナー参加 501千円	

令和4年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅰ 香美町における安定した就労の場を創出する

数値目標	新規就労者数 6年間（2020年度-2025年度の累計）で70人
------	----------------------------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
新規就労者数	8人	5人	2人				15人

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> 女性農業者の連携と元気な高齢者による就農促進、農福連携の促進 	地域特産物販路拡大事業費	美方大納言小豆の生産拡大に取り組む「みかた小町」に対し、栽培にかかる経費を支援した。また、交流会や農作業を通してネットワークの構築を図り、お互いが高め合う場づくり、女性農業経営者としての活躍と定着の促進が図れた。	必要に応じて女性農業者グループの活動に支援を行う。
6-1-3 農林水産課			
<ul style="list-style-type: none"> 但馬農業高校や畜産関係大学との連携による新規就農者の定着 	-	農業法人1者のもとで農業大学生及び農業高校生（研修生）を2名受け入れ、担い手の確保・育成を行った。	引き続き研修生の受入れ体制づくりや新規就農への支援を行う。
6-1-3 農林水産課			
<ul style="list-style-type: none"> 新たな森林経営管理システムの推進等による林業施業従事者の雇用拡大 	森林管理100%作戦推進事業	人工林の間伐、作業道開設に対して継続支援を行った。 <ul style="list-style-type: none"> 間伐支援 町内 計 8箇所 73.62 ha 作業道開設支援 町内 計 3箇所 7,362 m 	引き続き、支援を行う。
6-1-3 農林水産課			
<ul style="list-style-type: none"> 森林所有者やボランティア団体等を中心にした「木の駅プロジェクト」の推進 	森林環境経営管理事業費	木の駅プロジェクト実施主体である森のステーション美方実行委員会に運営支援を行った。 <ul style="list-style-type: none"> 出荷量 272.4 トン グリーンチケット発券枚数 3,879 枚 	周知活動を継続して実施するとともに新規登録者の掘り起こし、出荷量の安定確保に努める。
6-2-2 農林水産課			
<ul style="list-style-type: none"> 香住高等学校海洋科学科との連携や外国人漁業実習生の受入支援等による漁業就労者の確保 	水産業振興事業費	香住高等学校の取り組みと連携した漁業後継者の育成や、外国人漁業実習生の受け入れ体制づくり等により漁業の担い手の確保を図った。 <ul style="list-style-type: none"> 新規漁業就業者 2名 外国人新規就業者 11名 漁業実習修了者 5名 消耗品費（新規漁業就業者激励記念品他） 174千円	船主、漁協からも評価が高い激励会を引き続き行うとともに、香住高等学校との連携も行う。
6-3-2 農林水産課			
具体的な施策③ 未利用資源の発掘と新たな可能性の追求【拡充】			
<ul style="list-style-type: none"> 消費者に受け入れられる農林水産物の加工、新商品開発、「ものづくり」・6次産業化への支援 	6次産業化推進事業費	農林水産物の付加価値化と所得向上を図るため、1次産物の加工、商品開発のための試作、研究を進めるとともに、売れる商品づくりを目指し観光商工課の「香美町ものづくり支援事業」との連携を図った。	引き続き、観光商工課の「香美町ものづくり支援事業」との連携を図る。
農林水産課			

令和4年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅰ 香美町における安定した就労の場を創出する

数値目標	新規就労者数 6年間（2020年度-2025年度の累計）で70人
------	----------------------------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
新規就労者数	8人	5人	2人				15人

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> 消費者に受入れられる農林水産物の加工、新商品開発、「ものづくり」・6次産業化への支援 	6次産業化推進事業費	地域の活性化と産業の振興を図るため、お土産用陶磁器人形制作、香住梨ジェラート、梅干しの制作販売を行った事業者に対し、要した経費の一部を補助した。 ものづくり支援事業補助金 2件 707千円	モノづくりセミナーの開催を行うとともに、商品開発、既存商品の改良に必要な経費を補助するなど、新製品政策により事業展開を行う事業者を支援する。
<ul style="list-style-type: none"> 薬用作物、ハウス農業、未利用施設を活用した新規作目の導入検討 	町単農業振興対策事業費	事業未着手	但馬薬用植物研究会等の取り組みを支援するほか、施設園芸など新たな作目の導入についても検討を進める。
<ul style="list-style-type: none"> 新品種なしおとめ等の新規平場梨園造成と観光農園の検討 	町単農業振興対策事業費	新規梨生産者や担い手を育成するため、現在山間傾斜地で行われている梨生産を平場での栽培に移行するためのモデル梨園整備を関係機関と連携のもと行った。	引き続き、平場栽培の可能性と観光農園について調査研究を進める。
<ul style="list-style-type: none"> 作業の省力化を目指したスマート農業の推進 	-	美方郡農業改良普及事業推進協議会において、「リモートセンシングデータを活用したマップ連動可変施肥」の実証実験が行われ、生育ムラを解消し倒伏を防止できたほか、実証区では対照区に比べ平均収量が多かった。 農業近代化施設整備事業補助金 20,413千円	今後も実証実験を進め、作業の効率化、省力化が実証できればドローンなどスマート農業用の機械器具の導入支援を行う。
<ul style="list-style-type: none"> 有害鳥獣対策の推進に合わせたジビエ利用の研究 	有害鳥獣対策費	事業未着手	意欲を持つ民間事業者が現れた際に、随時情報提供等を行う。
<ul style="list-style-type: none"> 製材、木材加工など新たな林業事業体の創出 	-	事業未着手	意欲を持つ民間事業者が現れた際に、随時情報提供等を行う。
<ul style="list-style-type: none"> 栽培漁業及び蓄養殖の推進 	水産業振興事業費	サザエ、アワビの稚魚放流及びカサゴ、キジハタの稚魚放流を行うことにより、栽培漁業、資源管理型漁業への素地づくりを進めるとともに、水産資源の増強及び水産物の安定供給支援を行った。 魚貝類種苗放流事業補助金他 650千円	ヒラメの中間育成からカサゴ、キジハタの稚魚放流に変更したところであり、今後の漁獲の推移を見守る。

令和4年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅰ 香美町における安定した就労の場を創出する

数値目標	新規就労者数 6年間（2020年度-2025年度の累計）で70人
------	----------------------------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
新規就労者数	8人	5人	2人				15人

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> 道の駅等と連携した農作物等直売グループの育成 	—	道の駅や朝市に農産物等を出荷販売するグループ等の活動を支援した。	引き続き、直売グループ等の活動支援を行う。
<ul style="list-style-type: none"> 食と農林漁業の体験、周遊滞在ツアーの実施 	観光振興費	（一社）麒麟のまち観光局を主体に農泊推進をする中で、本町においては、農泊事業の実施希望者に対し、国の交付金の申請補助を行ったが、採択には至らなかった。	引き続き、農泊の推進を行うとともに、農林漁業体験等を目的としたツアー造成の可能性を探る。
<ul style="list-style-type: none"> 異業種連携による起業・創業の支援、国県町制度の紹介及び情報提供 	地域しごと支援事業費	事業未実施	産業活性化協議会を開催し、異業種間での意見交換を含め、今後の取り組みについて検討する。

■施策の柱3 地域産業の競争力強化（観光分野）

具体的な施策① 観光振興計画の戦略的な展開とインバウンド対策の推進【拡充】

<ul style="list-style-type: none"> 観光振興計画の戦略的な展開 	観光振興費	観光振興計画（2023～2027）を作成し、観光振興を目指した新たなアクションプランを設定した。	観光振興実践委員会により、アクションプランの実践に向けたコンテンツ作りを行う。
<ul style="list-style-type: none"> 若年層などの新たな顧客の誘客 	観光振興費	体験コンテンツの掘り起こしを実施した。	引き続き、体験コンテンツ造成に向け関係者と連携を図る。
<ul style="list-style-type: none"> 観光協会の統合による観光振興の一体的な推進 	観光振興費	合併準備委員会により、3区観光協会の合併に向けた協定項目を設定し、新観光協会の方向性を協議した。	各観光協会の総会において、令和6年4月に合併することについて承認を得た後、事務レベルでの調整を行う。
<ul style="list-style-type: none"> 地域固有の文化や資源の再発見（見直し）と観光資源としての活用 	観光振興費	事業未実施	観光関係者と連携し、魅力アップを図る。

令和4年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅰ 香美町における安定した就労の場を創出する	
数値目標	新規就労者数 6年間（2020年度-2025年度の累計）で70人

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
新規就労者数	8人	5人	2人				15人

取組内容		事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
	予算区分 / 所管			
・麒麟のまち観光局やオール但馬による広域観光連携事業の展開	7-1-4 観光商工課	観光振興費	（一社）麒麟のまち観光局の事業に参加し、「広域エリアだからできる、やりたいこと、やれること」に取り組んだ。 北近畿広域観光連盟負担金 723千円 但馬観光協議会負担金 126千円 麒麟のまち観光局負担金 1,380千円 但馬観光協議会負担金（たじまわる分） 743千円	引き続き、（一社）麒麟のまち観光局の事業に参加し、「広域エリアだからできる、やりたいこと、やれること」に取り組む。
・旅行メディア等を活用した情報発信、定期的、効果的なプレスリリースの実施	7-1-4 観光商工課	香美町役場神戸営業所事業費	旅行者や番組制作会社などへ定期的に情報提供を実施し、本町のPRを行った。 ・ テレビ放送 30回 ・ ラジオ放送 13回 ・ 新聞・雑誌掲載 39回	引き続き、情報提供を定期的に実施するとともに、内容の充実に取り組む。
・インバウンドを増やすためのハード整備（看板キャッシュレス化等）の推進とモニターツアー、OTAの活用	7-1-4 観光商工課	観光振興費	VISIT JAPANに参加し、商談を行った。	インバウンドに対応するための外国語表記看板の整備、ターゲット国の旅行者を対象としたモニターツアーやOTAを活用した宿泊予約を推進する。
具体的な柱② 地域資源（豊富な食材・豊かな自然）を活かす取り組み【拡充】				
・香美町グルメのPR（アプリの充実など）	7-1-4 観光商工課	観光振興費 香美町役場神戸営業所事業費	活イカ、香住ガニ、ホテルイカなど季節に応じた町内フェアを実施し、メディア向け情報提供発送やホームページ発信のほか、SNS投稿やチラシ作成によりPRに努めた。	新たな食材発掘を含め、プランづくりに努める。
・地域固有の文化や資源を活用した誘客の促進	7-1-4 観光商工課	観光振興費	事業未実施	各区観光協会等と実施方法を検討する。
・新商品（グルメ・お土産）の開発とPR	7-1-4 観光商工課	—	事業未実施	各区観光協会等と実施方法を検討する。

令和4年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅰ 香美町における安定した就労の場を創出する

数値目標	新規就労者数 6年間（2020年度-2025年度の累計）で70人
------	----------------------------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
新規就労者数	8人	5人	2人				15人

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
予算区分 / 所管			
<ul style="list-style-type: none"> 「カニ」と「肉」を美味しく食べさせるコンシェルジュ（マイスター）制度の創設 	観光振興費	事業未実施	各区観光協会等と実施方法を検討する。
7 - 1 - 4 観光商工課			
<ul style="list-style-type: none"> 新たな素材の開発とそれらを活用した地域ブランドづくり 	-	事業未実施	各区観光協会等と実施方法を検討する。
7 - 1 - 4 観光商工課			
具体的な柱③ 滞在時間延長と観光消費額を増やす取り組み【継続】			
<ul style="list-style-type: none"> 体験プログラムのPR（体験カレンダー作成、遊び体験サイトの活用） 	観光振興費	（一社）麒麟のまち観光局の事業として、体験コンテンツの掘り起こしを実施し、アソビューでの販売を行った。	引き続き、（一社）麒麟のまち観光局の事業として、体験コンテンツの掘り起こしを実施し、アソビューでの販売を行っていく。
7 - 1 - 4 観光商工課			
<ul style="list-style-type: none"> 新たな体験プログラムの作成 	観光振興費	事業未実施	体験コンテンツ造成に向け関係者と連携を図る。
7 - 1 - 4 観光商工課			
<ul style="list-style-type: none"> 旅行者等を対象としたモニターツアーの実施 	-	事業未実施	新たな視点でのツアー商品を開発するとともに、モニターツアー参加者から聴取した意見を踏まえ、ツアーの商品化をめざす。
7 - 1 - 4 観光商工課			
<ul style="list-style-type: none"> 悪天候でも満足できる体験型観光商品づくり 	観光振興費	事業未実施	各区観光協会等と実施方法を検討する。
7 - 1 - 4 観光商工課			
<ul style="list-style-type: none"> 体験型プログラムづくりやジオガイド、インストラクターの養成等、山陰海岸ジオパークを最大限に活かすジオツーリズムの推進 	山陰海岸ジオパーク推進事業費	体験メニュー創出支援とその普及啓発を行った。 ジオパーク推進ガイド養成委託料 2,619千円 山陰海岸ジオパーク推進協議会負担金 3,277千円	周遊キャンペーン事業、ジオサイトインバウンド対策、ビジネス・体験メニュー創出支援とその普及啓発を行う。
7 - 1 - 4 観光商工課			

令和4年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅰ 香美町における安定した就労の場を創出する

数値目標	新規就労者数 6年間（2020年度-2025年度の累計）で70人
------	----------------------------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
新規就労者数	8人	5人	2人				15人

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> まち歩きできる町並み環境、空間づくり 	観光振興費	事業未実施	各区観光協会等と実施方法を検討する。
7-1-4 観光商工課			

■施策の柱4 香美町への人材還流と就労対策

具体的な施策① 若者人材等の還流及び育成・定着支援【継続】

<ul style="list-style-type: none"> 地域おこし協力隊の募集等による若者層を中心としたふるさと回帰の促進 	地域おこし協力隊活動事業費	移住交流ナビJOIN、町ホームページ、民間サイトへの求人情報掲載に加え、移住スカウトサービスを活用するとともに、地域おこしサポート業務、移住拡大対策業務に当たる地域再生協働員を配置し、情報発信から定住に向けたフォローアップを行った。	協力隊に興味を持たれた方、移住を検討されている方に対してきめ細かなフォローアップを行うとともに、地域再生協働員を最大限活用し、隊員、移住者及び関係人口の創出に努める。おためし地域おこし協力隊に取り組むことで、着任後のミスマッチを防ぐ。
2-1-7 企画課			
<ul style="list-style-type: none"> 地域に定着できるグローバル人材の育成 	高校魅力化支援事業費	村岡高校地域アウトドアスポーツ類型の生徒を募集するため、地域みらい留学を通じたオンライン説明会やオープンハイスクール等を実施し、全国の若者人材の還流を目指した。 香住高校海洋科学科の生徒を募集するため、オープンハイスクールで全県学区募集を実施し、県内の若者人材の還流を目指した。 高校魅力化支援事業補助金 香住高等学校 1,000 千円 村岡高等学校 1,800 千円	引き続き、広く生徒を募集することで、若者人材の還流を目指していく。
2-1-8 企画課			

具体的な施策② 高等学校等における次代の地域を育てる人材育成支援【拡充】

<ul style="list-style-type: none"> 地場産業振興に向けた人材育成のための大学・専門教育機関等の試験研究施設等の誘致への取り組み 	-	平成29年11月、近畿大学へ本町内漁港エリアにおける利用可能地について提案を行ったが、日本海側では養殖事業は困難との回答であった。今後、畜養や陸上養殖についての可能性を検討する。	香美町の地域活性化に関する包括連携協定の関係団体ともに畜養、養殖について検討する。
- 農林水産課			
<ul style="list-style-type: none"> 官民学地協働による「地域が育てる学力」と「地域を育てる学力」の向上を推進する組織の構築 	高校魅力化支援事業費	既存のコンソーシアムや運営連携協議会において、多種多様な意見を交換し、官民学地それぞれの目線で魅力ある高校づくりに努めた。	コンソーシアムなどの活動を継続することで、学校と関係者の結びつきの活性化を図り、魅力ある高校づくりをさらに推進する。
2-1-8 企画課			

令和4年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅰ 香美町における安定した就労の場を創出する

数値目標	新規就労者数 6年間（2020年度-2025年度の累計）で70人
------	----------------------------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
新規就労者数	8人	5人	2人				15人

取組内容	予算区分 / 所管	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針												
<ul style="list-style-type: none"> 香住高校、村岡高校の魅力化を図り、次代の地域を育てる若者の育成支援 	2 - 1 - 8 企画課/教育総務課	高校魅力化支援事業費	<ul style="list-style-type: none"> 香住高等学校、村岡高等学校の生徒が地域に出て学び、地域における特有の課題解決や地域づくりに参画し、地域への愛着や誇りを育む活動の支援を行った。 高校魅力化支援事業補助金 香住高等学校 1,000 千円 村岡高等学校 1,800 千円 <ul style="list-style-type: none"> 芸術文化観光専門職大学の演劇的手法を活用したコミュニケーション教育を実施し、香住高等学校、村岡高等学校の生徒の自己表現力の向上を図った。 コミュニケーション教育業務 1,056 千円	<ul style="list-style-type: none"> 町内の県立高等学校の存続発展と地域の活性化のため、事業の充実を図る。 引き続き芸術文化観光専門職大学と連携し、人材教育の一環として、香住高等学校、村岡高等学校の生徒のコミュニケーション能力の向上を図る。 												
<ul style="list-style-type: none"> 町内高校の存続発展と高校発展による地域の活性化促進 	10 - 1 - 2 教育総務課	高校魅力化支援事業費	町内県立高等学校に在学し、遠距離等で通学困難な生徒が町内に下宿する場合、その保護者に対し下宿費の補助を行った。 <table border="1"> <tr> <td>村岡高等学校</td> <td>1 年生 10 名</td> <td>4,800 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2 年生 3 名</td> <td>1,232 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3 年生 7 名</td> <td>3,360 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計 20 名</td> <td>9,392 千円</td> </tr> </table>	村岡高等学校	1 年生 10 名	4,800 千円		2 年生 3 名	1,232 千円		3 年生 7 名	3,360 千円		計 20 名	9,392 千円	町内の県立高等学校の存続発展と地域の活性化のためにさらに多くの町外からの就学生徒を取り込む必要があり、事業の周知と下宿先の確保を高校と連携して行う。
村岡高等学校	1 年生 10 名	4,800 千円														
	2 年生 3 名	1,232 千円														
	3 年生 7 名	3,360 千円														
	計 20 名	9,392 千円														
<ul style="list-style-type: none"> 町内企業との連携を強化した高校生の社会的自立と地元定着に向けたキャリア教育の推進 	2 - 1 - 8 企画課	高校魅力化支援事業費	高校による総合的な探求の時間により町内企業と連携することで、企業の魅力を再発見し地元就職へ繋げることができた。 高校魅力化支援事業補助金 香住高等学校 1,000 千円 村岡高等学校 1,800 千円	引き続き、活動の成果を発表、PRすることで地域内外へ情報発信していく。												
<ul style="list-style-type: none"> 町内企業との連携を強化した高校生の社会的自立と地元定着に向けたキャリア教育の推進 	2 - 1 - 8 観光商工課	-	事業未実施	事業実施に向けて調査研究を行う。												
<ul style="list-style-type: none"> 地元出身の大学生等の就職を支援する「ふるさと就活」の実施 	7 - 1 - 2 観光商工課	(目) 商工業振興費 一般経常費	新規学卒者に対する企業紹介ガイドブックの作成を行った。 企業ガイドブック作成 (2,200冊) 749 千円	掲載企業数を増やし、より内容の充実した企業ガイドブックの作成を行う。												

令和4年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅰ 香美町における安定した就労の場を創出する	
数値目標	新規就労者数 6年間（2020年度-2025年度の累計）で70人

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
新規就労者数	8人	5人	2人				15人

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
予算区分 / 所管			
具体的な施策③ ICT（情報通信技術）等の利活用による地域活性化【継続】			
<ul style="list-style-type: none"> SNSを活用した「まちの情報」提供システムの構築 	移住定住対策費	Instagram、フェイスブック及びLINEを活用し、町の魅力や暮らしについて情報発信を行ったことにより、移住相談に繋がった。	令和5年度以降も引き続きSNSを活用した情報発信を行う。
2-1-7 企画課			
<ul style="list-style-type: none"> 移住定住サイトを活用した空き家や空き店舗、遊休施設情報の提供 	移住定住対策費	利活用可能な空き家等の情報を移住定住ウェブサイトへ一元化して提供することで、17件の空き家が活用された。 ホームページ保守委託料 968千円 報償費（町民ライター） 72千円	引き続き、移住定住ウェブサイト等で、利活用可能な空き家の情報提供及び情報収集を行う。
2-1-7 企画課			
<ul style="list-style-type: none"> ICTベンチャー等のサテライトオフィス、シェアオフィス等の誘致への取り組み、空き家等の活用支援 	移住定住対策費	支援事業を利用し、1件の新規事業所が開設された。 IT関連オフィス等開設・設置支援事業補助金 255千円	新規事業所開設の支援やオフィス誘致に取り組んでいく。
2-1-7 企画課/観光商工課			
<ul style="list-style-type: none"> 企業との連携による多様なテレワークモデルの開拓、導入への継続した取り組み 	移住定住対策費	テレワーク等の多様な事業者の募集を行うとともに、町内の宿泊事業者と連携したワーケーションを推進した。その他、町有施設を活用したテレワーク環境整備を行った。	令和5年度以降も引き続きワーケーションを推進し、テレワーク環境を整備した3箇所の施設も活用できるように推進する。
2-1-7 企画課/観光商工課			

基本目標 Ⅱ

香美町への新しいひとの流れをつくる

令和4年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅱ 香美町への新しいひとの流れをつくる

数値目標 若い世帯の新たな移住 6年間（2020年度-2025年度の累計）で90世帯

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
若い世帯の移住	6世帯	10世帯	13世帯				29世帯

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針

■施策の柱1 まちの魅力を発信し、香美町への新しいひとの流れをつくる

具体的な施策① 地方移住希望者への情報発信と支援体制の強化【継続】

<ul style="list-style-type: none"> 移住希望者及び移住者を支援する専門部門の設置と移住コーディネーターの設置 	移住定住対策費	<p>移住コーディネーター及び移住相談員による移住後の地域への介入支援により、移住者の定住を促進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 移住者 18世帯 36人 	令和4年度で任期満了となった移住コーディネーターの補充を行うとともに、令和5年度以降を見越した業務体制の見直しを行っていく。
<ul style="list-style-type: none"> 移住定住フェア等の参加や各種メディアを活用した積極的な情報発信 	移住定住対策費	<p>町民ライター6名による計11本の記事を移住定住ウェブサイトで公開し、まちの魅力を広く発信した。移住定住ウェブサイトのアクセス数は前年に比べ1,907件増加したが、新型コロナウイルス感染症の影響で移住フェアの開催が縮小され、移住者の参加には至らなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> 報償費（町民ライター） 72千円 	引き続き、移住フェアへの参加と町民ライターによる記事の移住定住ウェブサイトでの公開をすることで、まちの魅力を広く発信する。
<ul style="list-style-type: none"> より効果のある移住者支援体制の構築と強化 	移住定住対策費	<p>移住アドバイザー及び移住コーディネーターの地域への働きかけにより、移住者の受け入れに対して前向きな地域が増えてきた。特に、小代区貫田、村岡区祖岡、村岡区大笹において、移住に関する地域の活動が活発である。</p>	移住に関して前向きな地域が、移住者受け入れを地域のみで行えるよう、引き続きアドバイスを行う。行政と地域の相互協力で、移住者支援体制を強化する。
<ul style="list-style-type: none"> 移住希望者と地域住民が不安を感じる事のない移住者の受け入れ（支援）体制の整備 	移住定住対策費	<p>移住者と地域住民双方の不安を軽減するため、移住前においては移住相談員による情報提供や密接なやり取りを行い、移住後は移住者と地域住民が交流できる場の創出を図ったが、地域主導の受入体制の整備までには至らなかった。</p>	引き続き移住相談員等による移住者への支援を行うとともに、地域側にも移住者受け入れに協力してもらえるよう働きかけ、移住者の受け入れ体制を整備する。
<ul style="list-style-type: none"> 将来の定住を視野に入れた地域おこし協力隊の受入体制の強化と多様な地域協力隊の検討 	地域おこし協力隊活動事業費	<p>地域おこし協力隊の募集時において、将来の生業づくりと定住を見据え、効果的な地域協力活動の検討及び受入体制の強化に取り組んだ。一部の業務については、隊員を採用することができたが、その他の業務については採用に至らなかった。</p>	隊員にとっても地域にとっても魅力のある業務を創出していくとともに、おためし地域おこし協力隊制度を活用し、着任後のミスマッチを防ぐ。
<ul style="list-style-type: none"> 移住者のニーズに合ったお試し田舎暮らし制度の提供 	移住定住対策費	<p>空き家バンク登録物件を活用し2名がお試し住宅制度を利用した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 空き家利活用促進支援補助金 1,327千円 	引き続きお試し住宅利用者に対し家賃補助を行い、定住につなげていく。

令和4年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅱ 香美町への新しいひとの流れをつくる

数値目標 若い世帯の新たな移住 6年間（2020年度-2025年度の累計）で90世帯

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
若い世帯の移住	6世帯	10世帯	13世帯				29世帯

取組内容 予算区分 / 所管	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
具体的な施策② 空き家の利活用と移住しやすい環境の整備【継続】			
・「WONDER KAMI」による空き家情報の発信強化 2 - 1 - 7 企画課	移住定住対策費	より詳細な空き家情報を掲載し、空き家情報以外のコンテンツも充実させることで、サイトとしての魅力向上につながり、アクセス数は前年比で1,907件増加した。また、空き家は17件活用された。 ・ ホームページ保守委託料 968千円 ・ 報償費（町民ライター） 72千円	詳細な空き家情報の公開と、インタビュー記事やブログ記事等の定期的な更新を意識して行うことで、引き続き情報発信を強化する。
・ 空き家の利活用に関する支援の強化と利活用可能な空き家の掘り起こし 2 - 1 - 7 企画課	移住定住対策費	定住支援活動奨励金及び空き家活用助成金により、32件の空き家登録があり、空き家バンク登録を促進することができた。 定住支援活動奨励金 100千円 空き家活用助成金 600千円	引き続き、奨励金及び助成金の情報とあわせて空き家募集の情報発信を行い、利活用可能な空き家を空き家バンク登録へつないでいく。
・ 空き家等を活用したシェアハウス、シェアオフィス、サテライトオフィスの開設支援 2 - 1 - 7 企画課/観光商工課	移住定住対策費	IT関連オフィスは制度を活用し1件の新規開設があったが、移住体験施設の開設については該当がなかった。 IT関連オフィス等開設・設置支援補助金 255千円	引き続き支援制度の周知を行うとともに、移住体験施設開設支援補助金については制度見直しを行う。
・ 分譲地の情報発信、魅力アップによる移住促進 8 - 6 - 2 企画課	区画整理事業費	香美町山手土地区画整理組合の運営に係る支援として、令和4年度組合事務職員の給与の1/2（限度額400千円）に当たる266千円を補助した。 山手土地区画整理組合運営補助金 266千円	同区画整理事業の早期完了及び同組合の早期解散に向け、事業完了まで継続して支援を行う。
具体的な施策③ 町内の基幹作業の新たな担い手の確保			
・ インターンシップ等、新規就業者の発掘と事業者へのマッチング支援 5 - 1 - 1 観光商工課	（目）労働諸費 （目）商工業振興費 一般経常費	オンライン企業説明会の参加企業募集を行ったが、参加申込はなかった。企業ガイドブックについては、内容の充実を図った。 企業ガイドブック作成（2,200冊） 749千円	企業説明会参加企業を増やす。また、企業ガイドブックの掲載企業数を増やし、内容の充実を図る。
・ 人手不足解消に向けた外国人労働者の雇用促進と住民が不安を感じる事のない受入方法の検討 7 - 1 - 2 観光商工課	地域しごと支援事業費	事業未実施	労働力確保のため、外国人労働者の就労対策や外国人就労者への生活支援を行う。

令和4年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅱ 香美町への新しいひとの流れをつくる

数値目標 若い世帯の新たな移住 6年間（2020年度-2025年度の累計）で90世帯

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
若い世帯の移住	6世帯	10世帯	13世帯				29世帯

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
予算区分 / 所管 7-1-2 観光商工課 ・後継者問題を抱える事業者が取り組む継業への支援	地域しごと支援事業費	兵庫県事業引継ぎ承継センターと連携し、事業承継等を考えている方などを対象とした個別相談会を実施した。 ・ 相談者 2名	後継者がいない方や親族内承継の相談は秘密にしたいなどの意見もあることから、引き続き、事業承継引継ぎセンターの協力を得て専門家による個別相談を行う。
具体的な施策④ 農林水産関係の研究施設等の誘致【継続】			
7-1-2 観光商工課 ・大学・専門研究機関等の農林水産業等の研究施設等の誘致への取り組み	大学連携推進事業	連携協力に関する協定を締結した姫路大学と連携し、産官学一体の但馬牛研究に対する側面的支援を行った。	姫路大学の事業計画に対して側面的な支援を行い、但馬牛研究の推進を図る。
企画課 ・大学・専門研究機関等の農林水産業等の研究施設等の誘致への取り組み	養殖場設置に係る利用可能地提案	平成29年11月、近畿大学へ本町内漁港エリアにおける利用可能地について提案を行ったが、日本海側では養殖事業は困難との回答であった。今後、畜養や陸上養殖についての可能性を検討する。	香美町の地域活性化に関する包括連携協定の関係団体ともに畜養、養殖について検討する。
農林水産課 ・大学・専門研究機関等の農林水産業等の研究施設等の誘致への取り組み			
■施策の柱2 若者が香美町で暮らしたいと思える環境整備			
具体的な施策① 次代対応型の仕事の場づくり			
7-1-2 観光商工課 ・新技術、業務分野を担う起業、創業、事業承継への支援	地域しごと支援事業費	創業支援セミナー及び個別相談を行った結果、2名が起業した。 ・ 創業支援セミナー 4回 3名 ・ 個別相談 7日間 3名 事業承継推進事業委託料 1,500千円 創業支援計画事業委託料 1,500千円	補助制度や優遇制度を周知し、意欲のある方を発掘する。
福祉課 3-1-2 ・介護分野等における人材確保等、受け入れ事業所への支援	介護職員確保対策事業費	・ 平成29年度以降に町内介護事業所に新規採用された介護職員で、1年、2年、3年を経過した方へ助成金を交付した。 49名 2,575千円 ・ 3年経過した介護職員がいる事業者へ助成金を交付した。 3事業所 1,200千円 ・ I・Uターンを行い町内介護事業所に勤務する職員に対し、家賃の補助を行った。 1名 240千円	介護サービスを安定的・継続的に提供するため、引き続き、介護人材の確保及び育成に対する支援を行う。

令和4年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅱ 香美町への新しいひとの流れをつくる

数値目標 若い世帯の新たな移住 6年間（2020年度-2025年度の累計）で90世帯

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
若い世帯の移住	6世帯	10世帯	13世帯				29世帯

取組内容 予算区分 / 所管	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> 起業を目指す人が集うことができる拠点づくり <p style="text-align: right;">- - 企画課</p>	-	芸術文化観光専門職大学の地域リサーチ&イノベーションセンターを拠点とした観光地経営や起業支援施策等を充実させ、持続可能な地域づくりについて、調査研究を行った。 地域連携業務委託料 2,200千円	引き続き、芸術文化観光専門職大学の地域リサーチ&イノベーションセンターを核として、同大学と連携し地域課題の解決を図っていく。
具体的な施策② U・Iターンの促進			
<ul style="list-style-type: none"> Uターン就職者、希望者への支援 <p style="text-align: right;">- - 観光商工課</p>	-	事業未実施	Uターン就職者、Uターン就職希望者に対して企業紹介や企業情報を提供するなど就労支援を行う。
<ul style="list-style-type: none"> 若者を対象とした雇用・就農相談及び企業とのマッチング事業支援、就職フェア、企業紹介フェアの開催支援 <p style="text-align: right;">5 - 1 - 1 観光商工課</p>	(目) 労働諸費 一般経常費	オンライン企業説明会の参加企業募集を行ったが、参加申込はなかった。	企業説明会の町内参加企業を増加させ、新規卒者・UIターン希望者に対する企業とのマッチング機会を増やす。
<ul style="list-style-type: none"> 農業体験や農業研修の受け入れと就農、定着支援 <p style="text-align: right;">- - 農林水産課</p>	-	新規就農者の育成・定着を目的とした研修機関「香住なしの学校」が正式に認定され、令和5年4月の開校及び研修生1名の入学が確定した。	令和6年度入学の第2期生の確保に向け、就農相談会に積極的に参加し研修生の確保を目指す。
<ul style="list-style-type: none"> 地域おこし協力隊の定住に向けた総合的支援 <p style="text-align: right;">- - 企画課</p>	地域おこし協力隊活動事業費	町の地域おこし協力隊起業補助制度を活用し、1名の隊員に対して起業及び空き家の改修に要する費用の一部を補助し、定住に向けた起業・就業等の支援を行った。	現行の補助制度を維持するとともに、隊員が任期中に起業・就業活動を行う場合のサポート体制を構築することで、定住者の増加につなげていく。
■施策の柱3 豊かな地域資源を活かし、香美町への集客と交流を促進する			
具体的な施策① 山・川・海の魅力発信の強化と、特色ある体験型観光の充実【継続】			
<ul style="list-style-type: none"> 山・川・海を活用した年間を通じて楽しめる遊び体験づくり <p style="text-align: right;">7 - 1 - 2 観光商工課</p>	観光振興費	事業未実施	関係者、関係団体と連携を図り、支援について検討する。

令和4年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅱ 香美町への新しいひとの流れをつくる

数値目標 若い世帯の新たな移住 6年間（2020年度-2025年度の累計）で90世帯

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
若い世帯の移住	6世帯	10世帯	13世帯				29世帯

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
・3区観光協会による連携イベントの開催 7-1-2 観光商工課	-	事業未実施	各区観光協会等と実施方法を検討する。
・カニと但馬牛を核とした「四季の食」による年間誘客の促進 - - 観光商工課	観光振興費	事業未実施	各区観光協会等と実施方法を検討する。
・神戸営業所を中心とした、旅行メディアを活用した情報発信と定期的なプレスリリース、観光PR動画の制作と活用 7-1-2 観光商工課	香美町役場神戸営業所事業費	旅行事業者、番組製作会社等へ定期的な情報提供を実施するとともに、テレビ、ラジオを通じ誘客を図った。 ・ プレスリリース 29回 ・ テレビ放送 30回 ・ ラジオ放送 13回 ・ 新聞・雑誌掲載 39回	引き続き、定期的・効果的な情報提供を実施する。
・農林水産業を体験するツアー等の受入体制の拡充 7-1-2 観光商工課	観光振興費	（一社）麒麟のまち観光局を主体に農泊推進を行ったが、ツアー造成にはつながらなかった。	ツアー造成につながるよう事業化を目指す。
・体験型アクティビティの商品化と販売体制整備への支援 観光商工課	観光振興費	（一社）麒麟のまち観光局事業として、体験コンテンツの掘り起こしを実施し、アソビューでの販売を行った。	引き続き、（一社）麒麟のまち観光局事業として、体験コンテンツの掘り起こしを実施し、アソビューでの販売を行った。
・観光パンフレットやホームページの多言語対応整備やキャッシュレス化によるインバウンド対策の推進 7-1-2 観光商工課	観光振興費	多言語観光パンフの増刷、多言語ホームページの更新を行った。	引き続き、多言語観光パンフの増刷、多言語ホームページの更新を行う。
・インバウンド向けコンテンツの開発とモニターツアーの実施 7-1-2 観光商工課	観光振興費	事業未実施	インバウンド増加を目指し、ターゲット国の嗜好を踏まえたコンテンツを盛り込み、旅行会社向けモニターツアーを実施する。

令和4年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅱ 香美町への新しいひとの流れをつくる

数値目標 若い世帯の新たな移住 6年間（2020年度-2025年度の累計）で90世帯

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
若い世帯の移住	6世帯	10世帯	13世帯				29世帯

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
・文化遺産や地域資源を活用した町内周遊ツアーの構築 7 - 1 - 2 観光商工課	観光振興費	事業未実施	町内の街並みや文化財、行事、四季折々の風景、食、人、体験などの再発見とブラッシュアップを行い、周遊ツアーとして構築する。
具体的な施策② スポーツによる交流人口の増大【継続】			
・マラソン、ウォーキング、ハイキングへの参加者の拡大とリピーター増加への取り組み - - 生涯学習課	-	村岡ダブルフルウルトラランニング、木漏れ日ウォーキングでは参加者へアンケート調査を行い、結果を検証・反映した。また、各実行委員会内で他大会の情報共有を行った。	今後も、参加者の拡大とリピーター増加を図るため、アンケートや聞き取り調査を行い、引続き各実行委員会と情報の共有を図る。
・「ワールドマスターズゲームズ 2021 関西」での競技運営による外国人選手の受け入れ 10 - 6 - 1 生涯学習課	ワールドマスターズゲームズ受入事業費	大会運営委員会の開催、オリエンテーリング体験会及び講習会の実施（4回、162名）及び町ホームページの更新により機運の維持を図った。（検索エンジンで上位掲載）	令和9年度5月に開催される本大会に向けて、オリエンテーリング体験会等により機運の維持を図る。また、受け入れ体制整備（看板等PR、選手の宿泊、町内散策マップ、体験ツアー等）は一旦準備を概ね完了していたが、長期延期となったため、令和7年度から意向調査を含め、再整備を行う。
・山・川・海を活用した新規スポーツイベントの計画と実施によるスポーツツーリズムの取り組みの推進 - - 生涯学習課	-	令和5年度着手予定であったが令和4年度に準備が整ったため、「山岳縦走2days登山」として1泊2日で4つの山を登るイベントを実施した。（参加者33名、満足度92%）また、参加者を香美町ファンに導くため、瀨川山山頂を目指すスノーシューハイキングを実施した。（参加者17名、満足度94%）イベントは参加者の参加費で賄っており、一定の費用効果があった。	アンケート調査から、参加者のレベル調整、登山行程、お土産の確保等の意見があり、今後、意見をもとにイベントのブラッシュアップを図るとともにリピーターを確保する。また、現在イベントは生涯学習課を事務局としているが、3年を目途に実施し、任意団体への移行を図る。
・利用頻度の低い屋外運動施設の利活用計画の策定と実施 - - 生涯学習課	-	租岡すこやか広場の利用者については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により減少していたが、徐々に回復しつつある。小代健康公園芝生公園（大谷）は民間団体への管理委託により利用率向上を図っており、主にキャンプ場として整備・活用している。また、キャンプに加えて資源を活用したふるさと教育プログラムを実施したことから、町外在住者から高い評価を得ることができた。 広井多目的山村広場については、利用者数が減少しているが、現時点では租岡すこやか広場共に活用計画の策定及び実施ができていない。	引き続き、活用のないグラウンドの有効活用実証を行い、その最終年度として継続実証を行う。合わせて、他の利用の少ないグラウンドの利用計画を策定する。

令和4年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅱ 香美町への新しいひとの流れをつくる

数値目標 若い世帯の新たな移住 6年間（2020年度-2025年度の累計）で90世帯

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
若い世帯の移住	6世帯	10世帯	13世帯				29世帯

取組内容	事業名		事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針			
	予算区分	所管					
<ul style="list-style-type: none"> ・大学生等のスポーツ合宿の誘致と地元交流の促進 ・日本体育大学等とのスポーツ交流の拡大 ・町のイベント等を活用した村岡高校の魅力発信の推進 	-	-	生涯学習課	合宿にかかるワークショップは、合宿受け入れ希望のあった34軒の宿泊施設を対象に、先進地の事例、大学生の動向データをもとに4回開催した。学生において宿泊、バス、練習場、観光等の一括手配が望まれているが、実施合意まで至っていない。	地域の実情に応じた誘客手法の検討や、合宿誘致の実施時期が、8月中旬～末となるため、その時期に合宿を行っている大学生にターゲットを絞って協議を進める。宿泊施設においては、先進地の事例にそって宿泊プランを検討する。		
	10	6	1	生涯学習課	日本体育大学より2名の講師を招聘し、陸上教室を実施（2回、48名）、基礎トレーニングなどの双方指導を行うとともに、指導者へ理論解説を行い今後の指導につながる知識を習得した。	香美町スポーツ振興計画に位置付けられたスポーツ種目を中心に日本体育大学事務局及び町内スポーツ団体関係者と十分調整を行いながら事業を実施し、スポーツ交流の拡大を図る。	
	-	-	-	企画課/教育総務課	3年ぶりに開催された「みかた残酷マラソン全国大会」及び「村岡ダブルフルウルトラランニング」に全員スタッフとして参加した。給水所のスタッフや民芸班の民舞（南中ソーラン）でランナーを応戦し、地域内外の方と交流を図り、まちの魅力と高校の魅力発信に取り組んだ。	引き続き、スポーツイベントに合わせて、町の魅力と高校の魅力発信に努める。	
具体的な施策③ 文化遺産や地域資源を活用した誘客の促進【継続】							
<ul style="list-style-type: none"> ・和牛改良の礎を築いている但馬牛のルーツの世界発信、但馬牛の歴史、価値の情報発信 ・香美町の歴史文化遺産を活用した情報発信と新規誘客 	-	-	農林水産課	畜産振興対策事業費	コロナ禍で延期されていた世界農業遺産科学助言グループによる「兵庫美方地域の但馬牛システム」の世界農業遺産への認定に向けた審議が令和4年7月に再開され、複数回にわたる審議と質疑対応の結果、認定の可否を決定するための現地調査を6月に実施することが確定した。	引き続き、世界農業遺産への認定を目指す取り組みを推進し、美方郡但馬牛のブランド力向上と畜産振興を図る。	
	7	1	2	観光商工課	観光振興費	事業未実施	町内の歴史、文化を誘客に結び付けられるよう、整理、ブラッシュアップし、その魅力をPRする。
具体的な施策④ 友好都市等、都市部住民との交流促進と関係人口の拡大【継続】							
<ul style="list-style-type: none"> ・体験施設を活用した交流事業の構築による誘客 	7	1	2	観光商工課	ジオパークと海の文化館運営事業費	ジオパークと海の文化館の体験施設を活用し、都市部の自然学校や団体観光客を誘致し、交流の促進を図った。 ・体験実習者 299人	引き続き、ジオパークと海の文化館の体験施設を活用し、都市部の自然学校や団体観光客を誘致し交流の促進を図る。

令和4年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅱ 香美町への新しいひとの流れをつくる

数値目標 若い世帯の新たな移住 6年間（2020年度-2025年度の累計）で90世帯

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
若い世帯の移住	6世帯	10世帯	13世帯				29世帯

取組内容	予算区分 / 所管	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> 「香美町フェア」等各種イベントにおける特産販売、観光PRの促進 芸術、文化、スポーツ等を通じた相互交流の推進 芸術、文化、スポーツ等を通じた相互交流の推進 	7 - 1 - 2 観光商工課	香美町役場神戸営業所事業費	「香美町フェア」として香美町産品を使用したメニューフェアを大阪市内の商業施設で23日間実施したほか、神戸市内商店街等と連携した特産物販売イベント開催によるPRを行った。	引き続き、メニューフェアや特産物販売などのイベント開催により、観光PR・町内誘客を推進する。
	2 - 1 - 10 企画課	国内交流事業費 姉妹都市交流事業費	新型コロナウイルス感染症の流行で現地での実施には至らず、兵庫5カ国交流事業は実施しなかった。	兵庫5カ国交流会議については解散を視野に入れ、引き続き交流を行っていく。
	10 - 6 - 1 生涯学習課	(目) 保健体育総務費 一般経常費	以下の大会等を開催、相互交流を推進した。 <ul style="list-style-type: none"> 村岡ダブルフルウルトラランニング 1,158名 みかた残酷マラソン全国大会 2,639名 兵庫県雪合戦大会 200名 木漏れ日ウォーキング 40名 ジオパークウォーキング 18名 	実施主体であるそれぞれの実行委員会等と情報共有を行い、参加者目録（聞き取り調査等を実施）で継続的に事業を実施し、相互交流を推進する。

基本目標 Ⅲ

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

令和4年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標	年少人口（0歳～14歳） 2025（R7）年度に1,650人を維持
------	-----------------------------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
年少人口	1,632人	1,559人	1,473人				-

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
予算区分 / 所管			
■施策の柱1 結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援			
具体的な施策① 出会い・結婚支援【継続】			
・ライフプランを設計する機会の提供 2 - 1 - 7 企画課	結婚支援対策費	ライフデザイン冊子を活用した「ライフデザインセミナー」を実施し、若者が結婚や子育て、仕事を含めた自身の人生設計を前向きに考える機会を提供した。 ・ 高校生向けセミナー（村岡・香住） 各 1回 ・ 一般向け魅力アップセミナー 1回 ライフデザイン構築支援事業委託料 990千円	セミナーで実施したアンケートの回答内容（感想・要望等）を参考に、より充実した内容のセミナーを企画する。
・カフェ、ショップ、コミュニティ拠点等、自然に交流できる場の創出及び利用促進 2 - 1 - 7 企画課	結婚支援対策費 若者まちづくり懇話会事業費 移住定住対策費	若者のまちづくりへの参加と交流の場等の創出を図るための支援を実施した。	交流場所のさらなる活用と新たな開拓に対して、引き続き支援を行う。
・セミナー等による自身の魅力向上の機会提供 2 - 1 - 7 企画課	結婚支援対策費	出会いの場に前向きな気持ちで参加できるようにするため、美容界の講師による内面・外面の魅力向上を図るセミナーを開催した。	オンラインでの開催も視野に入れ、地域内外の若者をつなぐイベント、場所づくりをすることで、中長期的な結婚支援対策につなげる。
・国際化、多様化に対応した適切な出会いの機会の創出、後押しなど積極的な結婚支援 2 - 1 - 7 企画課	結婚支援対策費	町内における出会いの機会の創出を図るため、各種イベント、自己啓発講座、講演等の婚活サポート事業を実施する団体に対し、側面的支援を行うこととしていたが、新型コロナウイルス感染症の流行などにより、実施されなかった。	出会い支援事業に取り組んでいる団体への側面的支援を継続するとともに、結婚サポーターのスキルアップや従業員の結婚をバックアップするための事業者の取り組みも対象とするよう助成範囲を拡大する。
・「ひょうご出会いサポートセンター」「麒麟のまち婚活サポートセンター」の活用促進 2 - 1 - 7 企画課	結婚支援対策費	麒麟のまち婚活サポートセンターと連携した婚活事業を行うとともに、同センター及びひょうご出会いサポートセンターの情報を町ホームページ等で紹介し、利用を促した。	サポートセンターとの連携を密にし、町内イベントの開催、参加者の増加に向けたイベントの提案、広報及びホームページ等を活用した情報提供を行い、更なる機会の場の創出を図る。

令和4年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標	年少人口（0歳～14歳） 2025（R7）年度に1,650人を維持
------	-----------------------------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
年少人口	1,632人	1,559人	1,473人				-

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
予算区分 / 所管			
具体的な施策② 妊娠・出産の不安の軽減と子育ての自信を育む支援【継続】			
・子育て世代包括支援センターの利用啓発の促進と機能強化 4 - 1 - 1 健康課	子育て世代包括支援センター事業費	母子健康手帳の交付を子育て包括支援センターで実施し、交付日を設定することで、妊娠期から子育て期にわたる母子保健や子育てに関する相談支援の拠点として周知することができた。 ・ 利用件数（電話相談等も含む） 181 件	妊娠期からの関わりの第1歩である母子健康手帳交付を伴走型支援の第一歩として捉え、妊婦に丁寧に関わり、相談支援の窓口拠点として周知を図る。
・子育て経験を活かした同世代の母親による妊産婦へのサポート 4 - 1 - 1 健康課	子育て世代包括支援センター事業費	初めて子育てをする母親と子育て経験を持つ母親が気軽に話し、子育ての情報を聞いたり、悩みを共感したりしてもらう機会を提供した。	孤立化しやすい母親を個別に勧奨し、子育て経験がある妊産婦が初めて子育てをする産婦をサポートする事業を実施する。
・不妊治療等への支援の拡充 4 - 1 - 1 健康課	母子保健対策費	令和4年4月から体外受精等の基本治療が医療保険適用されたが、県の補助金事業に準じ助成事業を実施し、妊娠以前からの安心安全な子育て支援を行った。 一般不妊治療費扶助費 利用件数 5件 212 千円 特定不妊治療費扶助費 利用件数 13件 1,350 千円	医療保険適用されているが、状況に合わせ補助金の拡充など妊娠以前からの子育て支援を実施する。
・産前産後ヘルパー派遣事業の充実 4 - 1 - 1 健康課	子育て世代包括支援センター事業費	妊娠中や産後に支援を必要とする母子に対し、家事や育児のヘルパーを派遣し、育児負担や育児不安の軽減を図ることを目的に利用勧奨を行ったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等のより利用者の拡大につながらなかった。 ・ 利用件数 1 件 産前産後ヘルパー派遣事業委託料 4 千円	引き続き、事業の啓発・促進を図る。
・産後ケア事業の充実 4 - 1 - 1 健康課	子育て世代包括支援センター事業費	産後の支援を必要とする母子のケアを医療機関等での宿泊または訪問により提供し、育児不安等の軽減を図り母親が自信を持って子育てをスタートできるための支援を行うことができた。 ・ 利用件数 【宿泊型】 1 件 【訪問型】 6 件 産後ケア事業委託料 198 千円	引き続き、事業の啓発・促進を図る。

令和4年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標	年少人口（0歳～14歳） 2025（R7）年度に1,650人を維持
------	-----------------------------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
年少人口	1,632人	1,559人	1,473人				-

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
予算区分 / 所管			
・妊娠期から子育て期を通じた食育の推進 4 - 1 - 1 健康課	母子保健対策費	健全な食習慣の確立のため、離乳食と歯の教室（年4回、参加者11組）、母と子の料理教室等（年9回、参加者60人）を実施した。 離乳食と歯の教室、栄養教室 3千円 母と子の料理教室等 95千円	今後も引き続き健全な食習慣の啓発を実施する。
■施策の柱2 子ども・子育て支援の充実 具体的な施策① 教育・保育環境の充実【継続】			
・子育て支援マップの作成及び子育て情報の発信（無料子育てアプリの導入） 4 - 1 - 1 健康課	母子保健対策費	アプリを活用し、妊娠期から子育て期における情報をタイムリーに届け、育児不安、負担の軽減を図った。また、遠方に住んでいる幼児の相談をオンラインで行い様子を確認することができた。 ・累計登録件数 242件 ・3歳までの利用率 52.9% オンライン相談利用タブレット購入 133千円 子育て情報サービス利用料 396千円	教室の周知等タイムリーな情報発信をすることができた。今後も引き続き、利用者の増加を目指し、細やかな子育て支援を行う。
・総合的な子育て支援を提供する拠点の整備 - - 健康課	-	乳幼児のための健診や親世代の健診等の事業や健やかな子育てのための教室、健康相談事業など、子育てを総合的に支援するための保健事業の拠点として保健センターを運営することができた。 香美町保健センター事業費、維持管理費 3,741千円	総合的な子育て支援を提供する拠点として保健センターを設置し、子育て支援事業を展開できていることから、今後も総合的な子育て支援の窓口として周知を図り、利用の促進を目指す。
・保・幼・小・中・高が連携した「一貫化教育」の推進 10 - 1 - 2 教育総務課	教育研修所費	幼・小・中・高で連携し、あいさつ運動に取り組むことが出来た。また、毎月第一月曜日に各校が作成した町民運動のアナウンスを流し、あいさつ運動のPRを行った。	中学区単位で「めざす子ども像」を共有し、9年間の義務教育を通じた教育課程編制の確立と、今後の学校再編計画を考慮しながらさらなる連携を進めていく。

令和4年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標	年少人口（0歳～14歳） 2025（R7）年度に1,650人を維持
------	-----------------------------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
年少人口	1,632人	1,559人	1,473人				-

取組内容	事業名		事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
	予算区分	所管		
・不登校の未然防止やいじめの早期発見、早期対応に向けた学校、保護者、関係機関の連携の推進	10 - 3 - 2	子ども教育課	教育相談センター運営費 スクールソーシャルワーカー配置事業費 授業づくりや集団づくり等により不登校の未然防止に取り組むほか、学校、保護者、SSW、SA、教育相談センター等関係機関と連携し、「適切で、安心安全な居場所づくり」に努めた。また、学校においては定期的な生活アンケート（年3回以上）や教育相談等により、いじめの積極的認知を行い、教職員の意識と対応能力向上を図った。 ・ ふれあいルーム連絡会（月1回） ・ いじめ問題対策協議会の開催（年1回） ・ 町生徒指導部会研修会（年3回）	「香美町不登校対策連絡協議会」を設置し、不登校の現状把握等に基づき、多様な支援の在り方や取組等に関する協議、情報共有を行い、不登校の未然防止と減少を目指す。定期的な生活アンケート等を継続し、いじめの早期発見・早期対応に取り組む。
	10 - 3 - 1	教育総務課		
・学校園所へのICT活用の推進 ・授業への積極的なICT活用の推進	10 - 3 - 1	（小学校） 教育総務課	小学校コンピュータ整備事業費 公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業費 普通教室に設置しているアクセスポイントを更新し、学校内のネット環境を整えた。ICT支援員が学校を訪問し、タブレットの利活用向上と教職員の負担軽減を図った。	学校間で、タブレットの使用頻度にばらつきがあるため、各校の情報教育担当者が中心となり「情報教育全体計画・年間指導計画」を作成し、児童の情報活用能力の平準化を図る。
	10 - 3 - 1	（中学校） 教育総務課		
・グローバル化に対応した教育の充実	10 - 1 - 2	教育総務課	外国語指導助手を5人配置し、小学校では外国語活動等の補助を、中学校では外国語科等の授業補助を行った。 ・ 中学校第3学年の英語検定3級以上取得及び同等の英語力を有すると思われる生徒の割合 54 %	児童生徒の英語力と国際意識の向上を更に目指すため、外国語指導助手の指導力と資質の向上を目指す。
	10 - 2.3 - 2	子ども教育課		
・グローバル化に対応した教育の充実	10 - 2.3 - 2	子ども教育課	小学校英語カススキルアップ事業 中学校英語カススキルアップ事業 ・ 夏季休業中に全日程英語によるセミナーを実施した。 【小学校】 事業参加後の学習意欲の高まり 100 % 7/22：香住区6年生31人、7/25：村岡・小代区6年生13人 【中学校】 事業参加後の学習意欲の高まり 94 % 8/1～2：中学2年生8人、3年生7人 ・ 中学校全生徒を対象に英語能力判定テストを実施した。	・ より多くの児童生徒にセミナーに参加してもらえるよう開催日程や周知方法を工夫して、事業を実施する。 ・ 引き続き、中学校全生徒を対象に英語能力判定テストを実施する。

令和4年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標	年少人口（0歳～14歳） 2025（R7）年度に1,650人を維持
------	-----------------------------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
年少人口	1,632人	1,559人	1,473人				-

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> トリプルチャレンジ大作戦の充実 	（目）教育振興費 一般経常費	実施回数は減少したが、感染症対策を図りながら事業を実施した。	小規模校の園児児童を集め、学校園の内外において多人数での合同授業や交流学習などの学習機会を様々な場面でつくることにより、子どもたちの「生きる力」の育成を図る。
10 - 2 - 2 教育総務課			
<ul style="list-style-type: none"> 就学前わくわく交流会 	（目）幼稚園費 一般経常費	就学前の町内幼稚園等を4グループに編制し「わくわく交流会」を実施。コロナ禍が続く中、予定回数の9割程度実施することができた。少人数からくる課題解決に向け各グループで意欲的に取り組み、こどものコミュニケーション能力の向上等で大きな成果が見られた。 ・ 4グループで計16回（香住幼稚園との交流2回を含む）	こどもの減少や幼稚園の休園などによる課題はあるが、グループの再編や実施方法の工夫をしながら引き続き実施する。
10 - 4 - 1 こども教育課			
<ul style="list-style-type: none"> 学力向上ステップアップ授業 	（目）教育振興費 一般経常費	感染症対策を図りながら、交流事業を行った。 また、香住小学校教諭や中学校教諭がチャレンジプランの取組について理解し、その意義について確認するため授業参観を行った。	学校再編に伴い、交流する学校が減少するが、再編までは、引き続き学校間連携を行い、効果的な指導方法と授業内容の確立に務め、確かな学力の向上を図る。
10 - 2 - 2 教育総務課			
<ul style="list-style-type: none"> 土曜チャレンジ学習 	土曜日教育支援事業費	地域の多様な経験や技能を持つ人材等の協力により、2つの公民館において、ふるさとの自然や産業、文化、歴史など総合的に学ぶ機会を増やすことを目的とした「土曜チャレンジ学習事業」を実施した。 大雪警報により1回が中止となったが、香住高校の協力による但州丸での漁業体験、村岡高校の協力によるボルタリング体験、兎和の野外教育センターの協力による焚火体験等さまざまな体験によりふるさとの思い出づくり、参加者の交流促進に繋がり効果があった。 なお、令和4年度より町内小学生の交流促進や効果的なふるさと教育の推進を行うために対象者を香美町全体に拡大しての実施となった。 ・ 開催回数 9回 ・ 延べ参加者数 331人	令和4年度より町内小学生の交流促進や効果的なふるさと教育の推進を行うために、対象者を香美町全体に拡大して実施を行った。これにより、各区学校の枠を超えた交流促進につながり、今後も同様の体系で実施し、ふるさとに対する理解を深めていく。実施内容についても、ブラッシュアップを行い、町の自然環境等を活かしたより良い内容とする。
10 - 5 - 1 生涯学習課			

令和4年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標	年少人口（0歳～14歳） 2025（R7）年度に1,650人を維持
------	-----------------------------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
年少人口	1,632人	1,559人	1,473人				-

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
・体験的なふるさと教育の推進 10 - 2 - 2 こども教育課	小学校体験活動事業費	小学3年生を対象とした地域人材を活用した環境体験学習や小学5年生を対象とした5日間の自然学校を実施し、多様な体験的学習を通してふるさとへの理解・愛着心を育成した。 ふるさと教育共通教材として、小学校では「但馬牛」、中学校では「山陰海岸ジオパーク」を取り扱った。	学びの場を校外に移し、命の育みや社会性を育成するとともに、地域の人的・物的資源を活用した多様な体験活動によるふるさと教育を推進し、充実を図る。
・地産地消による日本一のふるさと給食など、地域に根ざした食育の推進 10 - 6 - 4 教育総務課	ふるさと給食推進事業費	地元産食材をふんだんに使ったふるさと給食を「生きた教材」として活用し、「ふるさと食材調理実習」などの地域人材を活用した実践活動等により地域に根ざした食育を推進する取組を行った。 ・ 地元産使用率 主要野菜26.3%、牛肉90.2%、魚75.9%	約7割の児童生徒が「香美町の好きなところはおいしい地元産食材」と回答しているが、「ふるさと給食」の認知割合は約5割である。（※第2期香美町教育振興基本計画に関する意向調査より） そのため「ふるさと給食」についての周知活動をさらに推進し、「ふるさと給食推進員」を中心に、地元産主要野菜の給食への使用率をさらに高めていく。
具体的な施策② 子育て家庭を支える地域づくり【継続】			
・子育て・子育て支援センターの充実 3 - 2 - 5 こども教育課	子育て・子育て支援センター費	子育て・子育て支援センターの開設と運営 ・ 実施箇所 3箇所 年間利用者数 香住子育て・子育て支援センター 2,024人 高井子育て・子育て支援センター 1,462人 小代子育て・子育て支援センター 1,095人 計 4,581人	親子同士の交流事業の充実や指導相談員の資質向上を図りながら、引き続き事業を実施する。
・子育てグループ等への活動支援 3 - 2 - 5 福祉課	(目) 子育て支援事業費 一般経常費	地域子育て支援事業補助金 350千円 ・ 交付先 7団体 子育て団体 - 団体 自治会等 7団体 計	子育てグループの活動費の助成を行うことで、既存グループの育成強化につながっている。少子化に伴い、子育てグループが減少している状況がある。引き続き子育て・子育て支援センターと連携を図り、既存グループの活動が維持できるよう支援する。
・地域での子育てを支える人材の育成 4 - 1 - 1 健康課	子育て世代包括支援センター事業費	子育てをしている母子との交流を図る事業や研修を実施し、子育て支援を支える人材を育成する事業を実施した。	産後ケアリスト等の子育てを支える人材に対する資質の向上や活動支援を進める。

令和4年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標	年少人口（0歳～14歳） 2025（R7）年度に1,650人を維持
------	-----------------------------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
年少人口	1,632人	1,559人	1,473人				-

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
子育て世代と祖父母世代との勉強会・交流の推進 4 - 1 - 1 健康課	子育て世代包括支援センター事業費	・ 愛育班員と子育てをしている母子との交流を図る等地域の子育て支援を推進する事業を実施した。 孫育て講演会 母子祖母 8人 愛育班員 9人 60千円 ・ オンラインで子育て支援講演会を実施した。 講師：稲垣心理士 参加者 延べ7人	子育て世代と祖父母世代の交流を促すことのできる事業を進める。
・産後ケアリスト等の有資格者を活用したファミリーサポート 4 - 1 - 1 健康課	子育て世代包括支援センター事業費	産後の母子をケアする有資格者等を活用した子育て支援事業を実施した。 ・ ママカフェサロン 12回 延べ42人 ・ わくわくサロン 12回 延べ45人 ・ パパママ子育て教室 11組 産後ケアリストによるサポート事業費 267千円	産後ケアリスト事業の周知を図るため、母子健康手帳交付時にも産後ケアリストを活用し、妊娠期からの支援強化を図る。

■施策の柱3 子どもを生き育てやすい環境整備

具体的な施策① ワーク・ライフ・バランスの推進【継続】			
・未来のパパママ事業、お父さん応援事業、お家に帰ろうデー等男性の家事、育児参加に向けた意識改革の促進 4 - 1 - 1 健康課	子育て世代包括支援センター事業費	コロナ禍であったため、個別に対応し、父親の育児参加の促進を目指した事業を実施した。 ・ パパママ子育て教室（個別講習会含む） 11組	基本は集団の対応をしつつ、個別対応も行い、利用者が参加しやすいよう実施する。
・企業へのワーク・ライフ・バランス普及啓発と推進企業の認定 7 - 1 - 2 観光商工課	地域しごと支援事業費	セミナー開催に向け、参加企業の募集を行ったが申込者が少数であったため中止とした。	町内事業者を対象とした、ワークライフバランスに関するセミナーを実施する。
・働きやすい職場環境づくりに取り組む企業への助成 7 - 1 - 2 観光商工課	地域しごと支援事業費	働きやすい環境づくりを推進するため、働き方改革やワークライフバランスに関するセミナー・研修等を実施する事業者に対し、実施費用の一部を補助する職場環境改善支援補助金の活用を促したが、令和4年度の申請はなかった。	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、働き方も変化している中で、新たな環境づくりに補助金を活用していただくため、事業の周知を図る。
・香美町男女共同参画行動計画の推進 3 - 1 - 4 町民課	男女共同参画推進事業費	令和4年5月に第3次香美町男女共同参画行動計画を町ホームページで公開する等、周知を行った。また、男女共同参画の推進に係るパンフレット等の配架を行うとともに美方郡内の兵庫県男女共同参画推進員の自主的な活動を支援した。	計画を周知することで町職員の意識啓発を進め、庁内関係各課と情報を共有するなどの連携を深めるとともに、推進体制の整備に努める。また、町民、各種団体、事業所等からの意見を聞き、取り入れながら計画を推進していく。

令和4年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標	年少人口（0歳～14歳） 2025（R7）年度に1,650人を維持
------	-----------------------------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
年少人口	1,632人	1,559人	1,473人				-

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
予算区分 / 所管			
具体的な施策② 仕事と子育ての両立支援【継続】			
・延長保育、一時保育の充実 3 - 2 - 2 こども教育課	保育所運営支援事業費	延長保育事業補助金 2,267千円 ・実施保育所数 4箇所 ・補助保育所数 3箇所 一時保育補助金 211千円 ・延べ利用児童数 57人 ・補助保育所数 3箇所	保育事業充実のため引き続き事業を実施する。
・放課後児童クラブの充実 3 - 2 - 5 こども教育課	放課後児童健全育成事業費	保護者の就労と子育ての両立支援、児童の健全育成のため、放課後児童クラブの開設と運営を行った。 （コロナ対策のため、学校が臨時休業の際も開設） ・開設数 10箇所 ・利用児童実人数 187人	引き続き、支援員の確保に努め、子どもの健全育成と子育て家庭の就労支援のため、町内すべての小学校区で保護者のニーズに応じて開設する。
・幼稚園の預かり機能の充実 10 - 4 - 1 こども教育課	幼稚園一時預かり事業費	教育時間終了後や土曜日・長期休業日に、家庭での保育が困難な園児を対象に、預かり保育を実施した。 ・香住幼稚園で実施 平日利用延べ利用児童数 5,710人	保育事業充実のため引き続き事業を実施する。
・病児保育の充実 3 - 2 - 2 こども教育課	病児保育事業費	保護者の就労と子育ての両立支援のため、病気になった児童の一時保育を実施した。 病児保育事業補助金 ・病児対応型（香住病院内専用ルーム） 延べ9人 ・体調不良児型（町内2保育園） 延べ51人	保育事業充実のため引き続き事業を実施する。
・配慮を必要とする子どもや家庭への支援（未熟児、障害児、アレルギーのある子ども、一人親家庭等） 3 - 2 - 2 こども教育課	保育所運営支援事業費	障害児の受け入れに要する加配等の経費に対して補助金を交付し、保育所運営を支援した。 障害児保育事業補助金 ・障害児保育実施保育所数 5箇所 ・補助保育所数 3箇所	保護者のニーズに対応する保育所の支援を引き続き実施する。 また、医療的ケア児の受け入れ体制整備の検討を行う。

令和4年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標	年少人口（0歳～14歳） 2025（R7）年度に1,650人を維持
------	-----------------------------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
年少人口	1,632人	1,559人	1,473人				-

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
予算区分 / 所管			
具体的な施策③ 子育てに係る経済的負担の軽減【継続】			
・妊産婦健康診査費の助成 4 - 1 - 1 健康課	母子保健対策費	妊娠・出産・子育てにおける健康増進と経済的負担の軽減を図った。 妊産婦健康診査費扶助費 5,475千円	引き続き事業を実施する。
・入・通院無料化含む乳幼児等医療費、子ども医療費の助成 3 - 2 - 1 健康課	乳幼児医療費助成事業費 子ども医療費助成事業費	乳幼児等の医療費及び子ども医療費の一部負担金の無料化を行った。 乳幼児等医療費扶助費 24,093千円 子ども医療費扶助費 25,730千円	子育て世帯の経済的負担の軽減につながっている。 引き続き事業を実施する。
・保育料の軽減 3 - 2 - 2 こども教育課	保育料軽減事業費	保育所及び認定こども園の3号認定児童に係る保育料の一部助成を行う。 ・保育料軽減事業費 1,410千円 ・対象児童数 28人	子育てに係る経済的負担軽減を図り、引き続き子どもを生き育てやすい環境づくりを推進する。
・第3子以降を育てる世帯への支援 - - 健康課	-	第3子以降を育てる世帯を含めたすべての子育て世代に対する支援の充実を図った。	引き続き、すべての子育て世代に対し、支援の充実を図る。
・第3子以降を育てる世帯への支援 - - こども教育課	-	放課後児童クラブを利用する第3子以降の児童の負担金を軽減して、多子世帯の支援を行った。（所得制限あり） ・軽減決定者 18人	引き続き、放課後児童クラブを利用する第3子以降の児童の負担金を軽減し、多子世帯の支援を行う。
・母子等家庭への医療費の助成 3 - 2 - 2 健康課	母子家庭等医療費給付事業費	母子・父子家庭の医療費の一部助成を行った。 母子家庭等医療費扶助費 1,167千円	子育て世帯の経済的負担の軽減につながっている。 引き続き事業を実施する。
・予防接種費用の助成 4 - 1 - 2 健康課	予防接種費	定期予防接種の無料化を実施し、接種の推進を図った。 任意予防接種のインフルエンザに係る自己負担分に対し、一部助成を実施した（一部助成者3,803人）。 予防接種委託料 29,039千円 予防接種扶助費 374千円	子育て世帯の経済的負担の軽減につながっているため、引き続き事業を実施する。

令和4年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標	年少人口（0歳～14歳） 2025（R7）年度に1,650人を維持
------	-----------------------------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
年少人口	1,632人	1,559人	1,473人				-

取組内容		事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
予算区分 / 所管				
<ul style="list-style-type: none"> 遠距離通学費の助成 	(小学生)	遠距離通学児童援助費	遠距離通学している対象者全員に助成を行い、保護者の経済的負担を軽減することができた。 遠距離通学児童援助費 3,722千円	引き続き、遠距離通学する児童に対して通学費を補助する。
	10 - 2 - 2 教育総務課			
	(中学生)	遠距離通学生徒援助費	遠距離通学している対象者全員に助成を行い、保護者の経済的負担を軽減することができた。 遠距離通学児童援助費 10,252千円	引き続き、遠距離通学する生徒に対して通学費を補助する。
	10 - 3 - 2 教育総務課			
	(幼稚園)	(目) 幼稚園費 一般経常費	遠距離通園している対象者全員に助成を行い、保護者の経済的負担を軽減することができた。 遠距離通学児童援助費 183千円	引き続き、遠距離通園する園児に対して通学費を補助する。
10 - 4 - 1 教育総務課				
(高校生)	(目) 事務局費 一般経常費	町内在住高校生のバス通学定期券購入費用に対して助成することで、保護者の負担軽減とバスの利用促進を図った。 高校生バス通学助成金 418千円	利用者が限られているが、引き続き、高校生バス通学助成金の利用促進を図ることで、バスの利用促進につなげる。	
10 - 1 - 2 企画課				
・義務教育終了までの子どもや家庭への支援	-	-	義務教育終了までの家庭への支援策として、給食費の無償化について検討した。 【事業着手予定年度】令和5年度	令和5年度から、子育て世帯の経済的な負担を軽減するため、保育所、認定こども園、幼稚園、小・中学校の給食費を無償化する。

基本目標 IV

安心な暮らしを守り、周辺地域と連携する

令和4年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅳ 安心な暮らしを守り、周辺地域と連携する

数値目標	地域コミュニティ組織の確立
------	---------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
地域コミュニティ組織数	1箇所	0箇所	0箇所				1箇所

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
------	-----	-----------------	-----------

■施策の柱1 地域コミュニティによるふるさとづくり

具体的な施策① 新しい地域コミュニティづくり - 広域的なコミュニティ組織による活性化 - 【継続】

<p>・新しい地域コミュニティづくりを推進する担当部署の設置</p> <p>7 - 1 - 8 企画課</p>	地域コミュニティ活性化事業費	新しい地域コミュニティ（まちづくり協議会）による地域づくりを推進する担当課（係）の設置について検討を行ったが、担当課（係）の設置には至らなかった。	県、他市町及び有識者等の意見・情報を参考にしながら、役場内での業務の進め方、支援体制について検討を進める。
<p>・地域内の既存組織や町行政の会議・団体・各種委員の整理・統廃合</p> <p>7 - 1 - 8 企画課</p>	地域コミュニティ活性化事業費	現段階では、設立済みの1団体のみしか検討対象となる団体がないことから、事業未実施となった。	新しい地域コミュニティ（まちづくり協議会）の設立に向けた協議を進めていく中で、地域内の各種団体の整理や町が選出を依頼する各種委員の地域内での統合選出（複数の区をまかなう委員）について検討を行う。
<p>・地域コミュニティ組織の活動を補完するため、人的支援と自由度の高い交付金による継続的な財政支援</p> <p>7 - 1 - 8 企画課</p>	地域コミュニティ活性化事業費	射添地区まちづくり協議会における取組を中心的に担う事務局長として集落支援員を配置し、組織運営及び活動に対して側面的な支援を実施した。	県や町の制度を有効に活用し、地域の課題解決に向けた持続可能な取組を実施できるよう、引き続きまちづくり協議会の運営・活動支援を行う。
<p>・食料品・日用品等の販売や宅配サービス、移動手段の確保など、安心した日常生活が送れる施設配置やサービス提供の取り組み</p> <p>7 - 1 - 8 企画課</p>	地域コミュニティ活性化事業費	射添地区まちづくり協議会の部会の中で、移動手段のサービス提供のあり方などについての検討がなされたが、決定には至っておらず継続して検討されていくものとされている。	地域課題の解決や持続可能な地域づくりに向けた取組を行う地域に対し、町や県の補助制度を活用した知識・技術の提供、財政支援を行う。
<p>・地域と学校園が連携しその地区ならではのふるさと教育の推進</p> <p>10 - 5 - 1 生涯学習課</p>	ふるさと教育推進事業費	<p>「ふるさとに学び、夢や希望を抱き、ふるさと香美を大切に」子どもの育成を目的として、ふるさと教育交流会、ふるさと語り部講座を開催した。</p> <p>ふるさと教育交流会では、ふるさと給食試食会・取組展、町内団体等による実践発表やパネルディスカッションによりふるさと教育の成果を共有することができ、参加者の好評を得た。また、ふるさと語り部講座では、北前船のものがたり、兎和野高原・木の殿堂を巡るなど地域資源について学び考える機会を提供することにより、住民が地域の教育資源を学ぶことができた。</p> <p>・ふるさと教育交流会 293人 ・ふるさと語り部講座 5回 129人</p>	ふるさと教育交流会での多種多様な団体や各世代間での取組みや提言を、多くの住民に情報共有することが地域全体で子どもを育てる環境づくり、担い手づくりのネットワークづくりへつながるため、実行委員会によりよい交流会開催に向けて内容の検討を行う。また、ふるさと語り部講座では、ふるさと物知り博士などの地域人材の発見や活用を図り、地域全体でふるさと教育を推進する。

令和4年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅳ 安心な暮らしを守り、周辺地域と連携する

数値目標	地域コミュニティ組織の確立
------	---------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
地域コミュニティ組織数	1箇所	0箇所	0箇所				1箇所

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
予算区分 / 所管			
<ul style="list-style-type: none"> 道の駅の活用やコミュニティカフェ、高齢者の知識やスキルを集積したまちライブラリーなどのデジタルアーカイブの推進 	地域コミュニティ活性化事業費	事業未実施	他市町の既存組織及びモデル地区等の事例を参考にしながら、地域の現状や将来性を見据えた取り組みを検討するとともに、既存組織の取り組みに対して支援を行っていく。
- - 企画課			
<ul style="list-style-type: none"> 多世代が気軽に集うことができる魅力ある居場所づくり 	地域コミュニティ活性化事業費	事業未実施	他市町の既存組織及びモデル地区等の事例を参考にしながら、地域の現状や将来性を見据えた取り組みを検討するとともに、既存組織の取り組みに対して支援を行っていく。
7 - 1 - 8 企画課			
具体的な施策② 集落機能の維持【継続】			
<ul style="list-style-type: none"> 祭りなどの伝統行事や文化、高齢者の孤立、集落の環境や景観など、住んでいる集落の暮らしの営みを点検し、問題点や課題を明確にし、解決策を考える「集落点検、集落計画づくり」への支援 	地域コミュニティ活性化事業費	事業未実施	集落支援員及びまちづくり協議会活動助成金を活用した支援を通じ、各地域での取り組みを推進する。
7 - 1 - 8 企画課			
<ul style="list-style-type: none"> 既存集落は維持した上で、他の集落との連携や道路・水路の共同作業などの相互扶助の推進 	地域コミュニティ活性化事業費	集落支援員及びまちづくり協議会活動助成金を活用した支援を通じ、各地域での取り組みを推進した。 まちづくり協議会活動助成金 1,572 千円	集落間の連携や相互扶助について、引き続き、側面から支援していく。
7 - 1 - 8 企画課			
<ul style="list-style-type: none"> 転出者（地域出身者）などへのふるさとでの地域づくりへの参加促進や外家族として地域への関わりを促進するSNS活用などによる情報発信と取り組みの支援 	地域コミュニティ活性化事業費	イベントの開催やPR用マグネットシートの作成等、地域内外に向けた情報発信に取り組むまちづくり協議会に対し、側面的な支援を行った。 まちづくり協議会活動助成金 1,572 千円	SNSや広報等を活用した情報発信に対して引き続き支援を行い、転出者（地域出身者）や移住者等の地域活動への参加を推進していく。
7 - 1 - 8 企画課			

令和4年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅳ 安心な暮らしを守り、周辺地域と連携する

数値目標	地域コミュニティ組織の確立
------	---------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
地域コミュニティ組織数	1箇所	0箇所	0箇所				1箇所

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
予算区分 / 所管			

■施策の柱2 安全・安心な暮らしづくり

具体的な施策① いつまでも健康で安心して暮らせる地域づくり【継続】

・共助・助け合いを旨とする自治会・ボランティア等の支援体制の整備 3 - 1 - 1 福祉課	社会福祉協議会費	地域福祉の担い手であり推進者である香美町社会福祉協議会を支援するため、同協議会の非採算部門である次の事業に対して補助を行った。地域における公益的な取り組みを実施することができた。 社会福祉協議会補助金（事務局10人分の人件費、法律相談などの費用） 41,965 千円 町ボランティア活動支援事業補助金（コーディネーター2人分の人件費、ボランティア育成に係る経費） 3,400 千円	将来にわたり福祉サービスを安定的・継続的に提供していく必要があることから、福祉人材の確保及び育成を重点に取り組んでいただくために、今後も補助を行い支援する。
・医療・介護・予防・住まい・生活支援を一体的に提供する「地域包括ケアシステム」の構築 3 - 2 - 1 【特別会計】福祉課	一般介護予防事業費	フレイル予防を目的に、住民主体の通いの場支援として専門職によるアドバイスを適宜行っている。元気体操サークルは78団体が実施、新規実施団体も増えてきている。	効果的な介護予防事業の実施ができるよう引き続き地域のリハビリ専門職の派遣を確保し、介護予防の取り組み強化を行う。
・医療・介護・予防・住まい・生活支援を一体的に提供する「地域包括ケアシステム」の構築 3 - 3 - 4 【特別会計】福祉課	在宅医療・介護連携推進事業	医療・介護従事者が、多職種協働で在宅医療と介護を一体的に提供できる「地域包括ケア体制の構築」を推進した。 ・美方郡在宅医療・介護連携推進事業の更なる展開 ・町内公立病院と連携体制構築を更に推進 他	引き続き医療・介護従事者が、多職種協働で在宅医療と介護を一体的に提供できるよう連携を進める。
・医療・介護・予防・住まい・生活支援を一体的に提供する「地域包括ケアシステム」の構築 3 - 3 - 5 【特別会計】福祉課	生活支援体制整備事業	多様な生活ニーズに対応していくため、地域の移動販売などの社会資源の情報を収集し、各関係機関との連携を図ることができた。	多様な生活ニーズに対応するため、有償ボランティアの実施も含め、他機関と協議を進めていく。引き続き住民主体の集い場の活性化を図っていく。
・医療や買い物以外でも気軽に集える施設・場所（サロン）の設置促進 3 - 2 - 1 【特別会計】福祉課	一般介護予防事業費	元気体操サークルは新規2箇所発足と継続支援、いきいきサロンは継続支援を行い、地域の介護予防活動を進めることができた。	引き続き地域の介護予防活動の拠点づくりを推進し、発足・継続支援を行う。

令和4年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅳ 安心な暮らしを守り、周辺地域と連携する

数値目標	地域コミュニティ組織の確立
------	---------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
地域コミュニティ組織数	1箇所	0箇所	0箇所				1箇所

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
・健康づくりへの動機付けや運動習慣の定着を促すことをめざす「健幸ポイント制度」の拡充とポイント活用の充実・促進 4 - 1 - 2 健康課	健康増進事業	健康づくりへの動機付けと運動習慣の定着促進を行うため、4月1日から12月16日までの8ヶ月間をポイント付与期間として実施し、溜まったポイントに応じて健康商品等に交換した。 ・ 参加者 753人（前年比：98人減） ・ 交換率 70.9% 参加前より運動をするようになった人は88人（20.7%）おり、「ポイント交換が楽しみで運動を続けており、今では習慣になった」などの声がある。 健幸ポイント報償費 865千円	参加者へのアンケート調査の結果、運動継続のためには「運動教室の開催」「運動イベントの開催」などの機会創出と「運動メニューの知識」が必要との意見があった。今後運動機会と運動知識を得ることのできる「運動教室」を実施していく。
・ICT（情報通信技術）やAIの医療・福祉への活用及び生活利便性向上への調査研究 - - 福祉課	在宅医療・介護連携推進事業 情報通信を活用した医療・介護連携「香美リンク(仮)」	国保連合会、ケアプランデータ連携システムについて、香美町ケアマネジャー連絡会、香美町通所サービス事業所連絡会にて研修会を行い、支援者に対しICT技術活用への理解を促すことができた。	医療・介護圏域である但馬管内及び鳥取県東部の動向を注視し、歩調を合わせながら進めていく。
・ICT（情報通信技術）やAIの医療・福祉への活用及び生活利便性向上への調査研究 - - 健康課	在宅医療・介護連携推進事業 情報通信を活用した医療・介護連携「香美リンク(仮)」	事業未実施	ICT（情報通信技術）やAIの医療・福祉への活用及び生活利便性向上への調査研究に参画していく。
・一次医療体制の確保及び周辺地域と連携した二次医療体制の充実 4 - 1 - 1 健康課	地域医療対策費 公立八鹿病院組合負担金事業費	医師招へい及びドクターカー運航事業等の実施 ・ ドクターカー出動件数 291件/2,682件 6,236千円 公立八鹿病院・公立村岡病院の運営費負担 102,843千円	引き続き一次医療体制の確保及び周辺地域と連携した二次医療体制の充実を図るため事業を実施する。

令和4年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅳ 安心な暮らしを守り、周辺地域と連携する

数値目標	地域コミュニティ組織の確立
------	---------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
地域コミュニティ組織数	1箇所	0箇所	0箇所				1箇所

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
予算区分 / 所管			
・一次医療体制の確保及び周辺地域と連携した二次医療体制の充実 - - 【特別会計】健康課	国民健康保険各診療所の運営	へき地診療所の運営による一次医療体制の確保を行う。 佐津診療所 35,649 千円 診療日数 144日 延患者数 1,156人 兔塚・川会診療所 25,993 千円 診療日数 168日 延患者数 783人 小代診療所 127,927 千円 診療日数 233日 延患者数 1,342人 兔塚・川会歯科診療所 73,194 千円 診療日数 220日 延患者数 6,590人	医師の高齢化、医師不足などによる医師確保及び安定した医療体制の維持継続が課題となっているため、地域の実情を分析しながら、引き続き一次医療体制の確保及び周辺地域と連携した二次医療体制の充実を図り、安定した医療体制の維持継続に努める。
・一次医療体制の確保及び周辺地域と連携した二次医療体制の充実 - - 香住病院	公立香住病院事業の運営	医療・福祉・介護の連携を図り、公的医療機関の役割を果たした。令和4年度は、常勤医師が総合診療科1人、小児科1人増となり、7人の常勤医師体制となった。 ・ 病院 患者数 入院 11,357人 外来 46,019人 ・ 介護老人保健施設 利用者数 入所 15,295人 通所 R3.7.1から休止 ・ 訪問看護ステーション 利用者数 2,776人 ・ 居宅介護支援事業所 利用者数 452人	引き続き、将来にわたり持続可能な医療及び福祉の提供体制の構築を図る。
・防災マップなど、新技術導入による防災、減災体制の構築と地域防災力の強化 9 - 1 - 4 防災安全課	災害対策関係諸事業	防災行政無線の保守や機器更新、小代地域局建て替えにかかるネットワークシステム再構築工事などを実施した。 防災無線直流電源装置蓄電池交換工事 4,015 千円 小代地域局震度情報ネットワーク再設置工事 2,013 千円	引き続き防災行政無線や各種防災システムの維持管理と、適切な運用、機器の更新を行う。災害ハザードなど、最新の情報の周知に努める。
具体的な施策② 交通弱者対策の推進【継続】			
・公共交通の幹線の維持と周辺集落から市街地への支線におけるデマンド運行の導入 2 - 1 - 7 企画課	町民バス運営事業費	令和2年度より新たな体系による町民バスの運行を開始し、奥佐津線及び余部線においてデマンド運行を導入した。また、小代線においてデマンド型実証運行を実施した。 実証運行期間：令和4年10月3日から11月30日の平日40日間 利用者数：63人（実利用者数13人） 予約システム借上料 911 千円	デマンド運行のメリットを活かしながら、利便性の向上を図るとともに、奥佐津線及び余部線また小代線のさらなる利便性向上に向けた運行体系を検討する。

令和4年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅳ 安心な暮らしを守り、周辺地域と連携する

数値目標	地域コミュニティ組織の確立
------	---------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
地域コミュニティ組織数	1箇所	0箇所	0箇所				1箇所

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
予算区分 / 所管			
<ul style="list-style-type: none"> 地域内で自家用車を使用した移動手段の確保と支援 	-	射添地区まちづくり協議会に対し、他市町の事例などを挙げ、自家用有償運送の導入条件や検討事項、課題等について助言を行った。	町内におけるまちづくり協議会の設置状況を勘案しながら、まちづくり協議会による自家用有償運送やボランティア移動サービスの導入についての検討を進める。
<ul style="list-style-type: none"> 次世代移動サービス (MaaS) 導入のための調査研究 	町民バス運営事業費	利用予約や最適経路検索システムをはじめとしたAIを導入した予約システムを活用し、小代区内においてデマンド型実証運行を実施した。 予約システム借上料 911千円	AIを導入した予約システムの導入を検討する。
2 - 1 - 7 企画課			
■施策の柱3 持続可能な地域づくり			
具体的な施策① 既存ストックのマネジメント強化ー「つくる時代」から「活かし・つかう時代」へー【継続】			
<ul style="list-style-type: none"> 公共施設等総合管理計画の推進 	(目) 財産管理費 一般経常費	老朽化した公共施設の改修や更新、人口減少による公共施設の統廃合等を計画的・効率的に行い財政負担の軽減を図るため、H28年度に公共施設等総合管理計画を策定、H29～R2に個別施設計画を策定した。公共施設等総合管理計画策定から5年が経過したため、R4年度に公共施設等総合管理計画を見直し、改訂を行った。	R4年度に見直しを行った公共施設等総合管理計画に基づき今後各個別施設計画の見直しを行う。今後も毎年のフォローアップと公共施設等総合管理計画及び各個別施設計画の5年毎の見直しを行い、計画的な公共施設の管理と、公共施設保有量の削減、建設費用の平準化を図る。
2 - 1 - 6 総務課			
具体的な施策② 再生可能エネルギーの利活用【継続】			
<ul style="list-style-type: none"> 木質バイオマス、太陽光、雪氷熱などの自然(再生可能)エネルギーの利用の促進 	-	事業未実施	一般家庭や公共施設等へ再生可能エネルギー設備の導入を促進するなど、低炭素社会の実現に向けた検討を進める。
<ul style="list-style-type: none"> 木質バイオマス、太陽光、雪氷熱などの自然(再生可能)エネルギーの利用の促進 	森林環境経営管理事業費	チップ材加工については、香美町バイオマスセンターを拠点として安定的な運営がなされているほか、木の駅プロジェクトも円滑に運営されている。	チップ材加工及び木の駅プロジェクトについては継続して安定運営に努める。
6 - 2 - 2 農林水産課			
<ul style="list-style-type: none"> 安全で新鮮な食糧の地域内生産・消費の促進 	畜産振興対策事業費 水産振興事業費	但馬牛の牛ふん堆肥など有機肥料による安全安心な農産物生産を推進する他、道の駅での販売拡大、児童生徒への「ふるさと給食」材料として新鮮な地域内生産物の提供を行った。 ふるさと給食材料 但馬牛牛肉 600千円 水産物 1,198千円	引き続き地域内生産物の普及推進と消費喚起を継続して行う。
6 - 1 - 3 農林水産課			